

令和6年度 介護生産性向上に関する事業所調査結果

■調査時期

令和7年1月9日（木）～令和7年2月5日（水）

■調査対象

県内介護サービス事業所

■調査方法

インターネット

■回収率

	配布数	回答事業所数	回答率
計	2,446	551	22.5%
施設系	557	132	23.7%
居宅系	1,889	419	22.2%

(居宅系のうち、居宅介護支援・介護予防支援78、その他居宅系サービス341)

<注>

※ 「施設系」…介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、（介護予防）認知症対応型共同生活介護
 「居宅系」…上記以外
 「居宅系内訳1」…居宅介護支援・介護予防支援
 「居宅系内訳2」…その他居宅系サービス
 ※ 各項目ごとに、回答割合が多い順に色付け 凡例： 1位 2位 3位

I. 運営上の課題

■運営上の課題（複数選択可）

	回答事業所数	良質な人材の確保が難しい	今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない	指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている	教育・研修の時間が十分に取れない	経営環境（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をたくてもできない	新規利用者の確保が難しい	介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	管理者の指導・管理能力が不足している	介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある	介護従事者間のコミュニケーションが不足している	経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している	利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している	介護保険の改正等についての確かな情報や説明が得られない	雇用管理等についての情報や指導が不足している	その他	特に問題はない
計	551	88.4%	77.5%	83.1%	78.0%	66.6%	58.4%	51.0%	39.7%	48.8%	32.1%	35.2%	37.0%	32.7%	39.0%	3.4%	47.5%
施設系	132	92.4%	75.8%	81.1%	79.5%	68.2%	55.3%	60.6%	55.3%	45.5%	41.7%	43.2%	29.5%	31.1%	37.9%	2.3%	34.8%
居宅系	419	87.1%	78.0%	83.8%	77.6%	66.1%	59.4%	48.0%	34.8%	49.9%	29.1%	32.7%	39.4%	33.2%	39.4%	3.8%	51.6%
居宅系内訳1	74	75.7%	68.9%	85.1%	71.6%	58.1%	52.7%	28.4%	24.3%	44.6%	20.3%	27.0%	37.8%	16.2%	25.7%	2.7%	62.2%
居宅系内訳2	345	89.6%	80.0%	83.5%	78.8%	67.8%	60.9%	52.2%	37.1%	51.0%	31.0%	33.9%	39.7%	36.8%	42.3%	4.1%	49.3%

II. 生産性向上（業務改善）の取組

■介護ロボット・ICT導入について

(1) 導入済の機器（複数選択可）

	回答事業所数	移乗介助	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	機能訓練支援	食事・栄養管理支援	認知症生活支援・認知症ケア支援	介護ソフト	介護ソフト専用の情報端末	通信環境機器	バックオフィスソフト	その他
計	551	5.1%	5.4%	2.0%	36.5%	1.1%	18.9%	4.4%	9.3%	10.2%	2.5%	65.5%	51.4%	80.8%	30.1%	0.2%
施設系	132	12.1%	9.8%	3.8%	68.2%	2.3%	28.8%	6.1%	15.2%	25.8%	6.1%	69.7%	55.3%	91.7%	38.6%	0.0%
居宅系	419	2.9%	4.1%	1.4%	26.5%	0.7%	15.8%	3.8%	7.4%	5.3%	1.4%	64.2%	50.1%	77.3%	27.4%	0.2%
居宅系内訳1	74	2.7%	4.1%	1.4%	14.9%	1.4%	5.4%	1.4%	2.7%	2.7%	1.4%	55.4%	39.2%	75.7%	21.6%	1.4%
居宅系内訳2	345	2.9%	4.1%	1.4%	29.0%	0.6%	18.0%	4.3%	8.4%	5.8%	1.4%	66.1%	52.5%	77.7%	28.7%	0.0%

(2) 導入してみたい機器 (複数選択可)

	回答事業所数	移乗介助	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	機能訓練支援	食事・栄養管理支援	認知症生活支援・認知症ケア支援	介護ソフト	介護ソフト専用の情報端末	通信環境機器	バックオフィスソフト	その他
計	551	41.9%	34.1%	36.5%	47.5%	39.2%	41.9%	42.3%	37.9%	29.0%	41.7%	57.7%	62.3%	53.9%	53.2%	0.4%
施設系	132	60.6%	49.2%	55.3%	73.5%	50.8%	59.1%	59.8%	50.0%	44.7%	60.6%	57.6%	65.2%	50.0%	51.5%	0.8%
居宅系	419	36.0%	29.4%	30.5%	39.4%	35.6%	36.5%	36.8%	34.1%	24.1%	35.8%	57.8%	61.3%	55.1%	53.7%	0.2%
居宅系内訳1	74	12.2%	12.2%	10.8%	21.6%	20.3%	10.8%	14.9%	13.5%	9.5%	21.6%	56.8%	58.1%	52.7%	40.5%	0.0%
居宅系内訳2	345	41.2%	33.0%	34.8%	43.2%	38.8%	42.0%	41.4%	38.6%	27.2%	38.8%	58.0%	62.0%	55.7%	56.5%	0.3%

(3) 介護ロボット・ICT導入の課題 (複数選択可)

	回答事業所数	導入コストが高い	介護ロボットやICT機器・介護ソフトのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがわからない	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	技術的に使いこなせるか心配である	誤作動の不安がある	設置や保管等に場所をとられてしまう	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	投資に見合うだけの効果がない(事業規模から考えて必要ない)	介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない	職員への周知(使用方法等)	その他	導入する必要のある課題や必要性を感じていない
計	551	94.2%	60.4%	32.7%	70.4%	68.2%	68.8%	75.5%	59.9%	35.9%	61.7%	2.7%	31.6%
施設系	132	96.2%	43.9%	22.0%	68.2%	65.9%	64.4%	78.0%	45.5%	22.7%	62.9%	6.1%	13.6%
居宅系	419	93.6%	65.6%	36.0%	71.1%	69.0%	70.2%	74.7%	64.4%	40.1%	61.3%	1.7%	37.2%
居宅系内訳1	74	87.8%	71.6%	28.4%	64.9%	63.5%	50.0%	56.8%	60.8%	33.8%	60.8%	1.4%	37.8%
居宅系内訳2	345	94.8%	64.3%	37.7%	72.5%	70.1%	74.5%	78.6%	65.2%	41.4%	61.4%	1.7%	37.1%

■生産性向上(業務改善)の取組について

(1) 「あおもり介護生産性向上相談センター」について

	回答事業所数	知っており、活用したことがある	知っているが、活用したことはない	知らない
計	551	8.2%	53.9%	37.9%
施設系	132	18.9%	53.8%	27.3%
居宅系	419	4.8%	53.9%	41.3%
居宅系内訳1	74	1.4%	52.7%	45.9%
居宅系内訳2	345	5.5%	54.2%	40.3%

(1) 厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について

	回答事業所数	知っている、読んだことがある	知っているが、読んだことはない	(一部でも)活用し、取り組んでいる	知らない
計	551	34.1%	39.9%	3.3%	22.7%
施設系	132	53.8%	25.8%	6.1%	14.4%
居宅系	419	27.9%	44.4%	2.4%	25.3%
居宅系内訳1	74	20.3%	50.0%	1.4%	28.4%
居宅系内訳2	345	29.6%	43.2%	2.6%	24.6%

(3) 介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組のうち、実施済の項目(複数選択可)

	回答事業所数	職場環境の整備	業務の明確化と役割分担	介護ロボットやICT機器の導入	手順書の作成	記録・報告様式の工夫	情報共有の工夫	OJTの仕組みづくり	理念・行動指針の徹底	実施済の項目はない
計	551	66.2%	69.5%	51.5%	46.8%	63.5%	44.3%	41.4%	63.3%	13.2%
施設系	132	67.4%	71.2%	58.3%	42.4%	61.4%	43.9%	53.0%	62.9%	11.4%
居宅系	419	65.9%	69.0%	49.4%	48.2%	64.2%	44.4%	37.7%	63.5%	13.8%
居宅系内訳1	74	59.5%	74.3%	43.2%	41.9%	56.8%	40.5%	40.5%	66.2%	23.0%
居宅系内訳2	345	67.2%	67.8%	50.7%	49.6%	65.8%	45.2%	37.1%	62.9%	11.9%

(4) 「介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組」うち、実施予定又は実施してみたい項目(複数選択可)

	回答事業所数	職場環境の整備	業務の明確化と役割分担	介護ロボットやICT機器の導入	手順書の作成	記録・報告様式の工夫	情報共有の工夫	OJTの仕組みづくり	理念・行動指針の徹底	実施予定の項目はない
計	551	77.1%	73.7%	63.5%	71.3%	76.2%	73.3%	72.2%	70.4%	20.9%
施設系	132	76.5%	69.7%	71.2%	67.4%	72.7%	75.0%	70.5%	65.9%	15.2%
居宅系	419	77.3%	74.9%	61.1%	72.6%	77.3%	72.8%	72.8%	71.8%	22.7%
居宅系内訳1	74	74.3%	68.9%	60.8%	58.1%	71.6%	67.6%	68.9%	70.3%	35.1%
居宅系内訳2	345	78.0%	76.2%	61.2%	75.7%	78.6%	73.9%	73.6%	72.2%	20.0%

(5) 取組にあたっての(予想される)課題(複数選択可)

	回答事業所数	時間の確保	実施体制の不備	職場内での反発	取組に対する理解不足	ルール化の問題	経済的な問題	職員間の認識のばらつき	その他	困難は生じなかった
計	551	88.0%	75.0%	40.8%	70.8%	71.9%	79.3%	78.2%	0.7%	15.2%
施設系	132	87.1%	72.0%	45.5%	80.3%	75.0%	76.5%	88.6%	0.0%	9.1%
居宅系	419	88.3%	75.9%	39.4%	67.8%	70.9%	80.2%	74.9%	1.0%	17.2%
居宅系内訳1	74	86.5%	71.6%	27.0%	55.4%	58.1%	79.7%	55.4%	0.0%	25.7%
居宅系内訳2	345	88.7%	76.8%	42.0%	70.4%	73.6%	80.3%	79.1%	1.2%	15.4%

Ⅲ. 取組成果(※全体的に、選択肢が右に行くほど良い傾向。)

■業務の効率化について

①利用者・家族とのコミュニケーション時間

現在の状況

	回答事業所数	ほとんど確保できていない	十分に確保できていない	ある程度は確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている
計	551	2.9%	13.2%	49.4%	30.7%	3.8%
施設系	132	2.3%	19.7%	44.7%	30.3%	3.0%
居宅系	419	3.1%	11.2%	50.8%	30.8%	4.1%
居宅系内訳1	74	2.7%	5.4%	58.1%	27.0%	6.8%
居宅系内訳2	345	3.2%	12.5%	49.3%	31.6%	3.5%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた
計	551	2.2%	8.9%	69.9%	17.1%	2.0%
施設系	132	4.5%	12.1%	53.0%	26.5%	3.8%
居宅系	419	1.4%	7.9%	75.2%	14.1%	1.4%
居宅系内訳1	74	0.0%	6.8%	82.4%	9.5%	1.4%
居宅系内訳2	345	1.7%	8.1%	73.6%	15.1%	1.4%

②時間に追われる焦り感(心理的な負担)

現在の状況

	回答事業所数	非常に強い	強い	一般的である	弱い	非常に弱い(全くない)
計	551	10.7%	38.1%	45.9%	4.2%	1.1%
施設系	132	9.1%	41.7%	41.7%	6.1%	1.5%
居宅系	419	11.2%	37.0%	47.3%	3.6%	1.0%
居宅系内訳1	74	16.2%	44.6%	33.8%	4.1%	1.4%
居宅系内訳2	345	10.1%	35.4%	50.1%	3.5%	0.9%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	551	9.1%	23.6%	60.1%	6.2%	1.1%
施設系	132	6.1%	25.0%	53.8%	13.6%	1.5%
居宅系	419	10.0%	23.2%	62.1%	3.8%	1.0%
居宅系内訳1	74	12.2%	23.0%	60.8%	4.1%	0.0%
居宅系内訳2	345	9.6%	23.2%	62.3%	3.8%	1.2%

③質の維持向上(OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討)に活用可能な時間

現在の状況

	回答事業所数	ほとんど確保できていない	十分に確保できていない	ある程度は確保できている	必要に応じて確保できている	余裕をもって確保できている
計	551	8.3%	31.4%	42.1%	18.0%	0.2%
施設系	132	7.6%	36.4%	40.9%	15.2%	0.0%
居宅系	419	8.6%	29.8%	42.5%	18.9%	0.2%
居宅系内訳1	74	1.4%	24.3%	48.6%	24.3%	1.4%
居宅系内訳2	345	10.1%	31.0%	41.2%	17.7%	0.0%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく減った	多少減った	変わらない	多少増えた	大きく増えた
計	551	3.3%	16.9%	69.7%	10.2%	0.0%
施設系	132	3.0%	20.5%	64.4%	12.1%	0.0%
居宅系	419	3.3%	15.8%	71.4%	9.5%	0.0%
居宅系内訳1	74	1.4%	14.9%	75.7%	8.1%	0.0%
居宅系内訳2	345	3.8%	15.9%	70.4%	9.9%	0.0%

④介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない(全くない)
計	551	4.4%	19.6%	50.6%	17.2%	8.2%
施設系	132	5.3%	18.2%	50.8%	17.4%	8.3%
居宅系	419	4.1%	20.0%	50.6%	17.2%	8.1%
居宅系内訳1	74	2.7%	12.2%	52.7%	23.0%	9.5%
居宅系内訳2	345	4.3%	21.7%	50.1%	15.9%	7.8%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	551	2.9%	17.1%	69.7%	8.5%	1.8%
施設系	132	1.5%	15.2%	68.9%	12.1%	2.3%
居宅系	419	3.3%	17.7%	69.9%	7.4%	1.7%
居宅系内訳1	74	0.0%	14.9%	74.3%	9.5%	1.4%
居宅系内訳2	345	4.1%	18.3%	69.0%	7.0%	1.7%

⑤報告業務に要する時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に長時間を要している	長時間を要している	一般的な所要時間である	短時間で済んでいる	非常に短時間で済んでいる
計	551	1.6%	14.5%	73.5%	8.9%	1.5%
施設系	132	1.5%	13.6%	66.7%	15.9%	2.3%
居宅系	419	1.7%	14.8%	75.7%	6.7%	1.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	10.8%	81.1%	6.8%	1.4%
居宅系内訳2	345	2.0%	15.7%	74.5%	6.7%	1.2%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	551	2.2%	11.3%	78.9%	6.5%	1.1%
施設系	132	2.3%	8.3%	74.2%	13.6%	1.5%
居宅系	419	2.1%	12.2%	80.4%	4.3%	1.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	12.2%	86.5%	1.4%	0.0%
居宅系内訳2	345	2.6%	12.2%	79.1%	4.9%	1.2%

⑥介護記録の作成時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に長時間を要している	長時間を要している	一般的な所要時間である	短時間で済んでいる	非常に短時間で済んでいる
計	551	2.0%	18.0%	70.2%	8.2%	1.6%
施設系	132	0.0%	9.8%	73.5%	13.6%	3.0%
居宅系	419	2.6%	20.5%	69.2%	6.4%	1.2%
居宅系内訳1	74	2.7%	37.8%	55.4%	2.7%	1.4%
居宅系内訳2	345	2.6%	16.8%	72.2%	7.2%	1.2%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	551	2.7%	11.4%	71.9%	12.5%	1.5%
施設系	132	0.0%	7.6%	72.7%	17.4%	2.3%
居宅系	419	3.6%	12.6%	71.6%	11.0%	1.2%
居宅系内訳1	74	5.4%	17.6%	71.6%	5.4%	0.0%
居宅系内訳2	345	3.2%	11.6%	71.6%	12.2%	1.4%

⑦共有情報(ケア記録やケアマネへの提供情報など)の質

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.7%	8.2%	82.6%	7.4%	1.1%
施設系	132	1.5%	10.6%	78.0%	6.8%	3.0%
居宅系	419	0.5%	7.4%	84.0%	7.6%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	90.5%	4.1%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.6%	8.1%	82.6%	8.4%	0.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.2%	4.4%	86.6%	8.7%	0.2%
施設系	132	0.8%	6.1%	83.3%	9.8%	0.0%
居宅系	419	0.0%	3.8%	87.6%	8.4%	0.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	1.4%	91.9%	6.8%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.0%	4.3%	86.7%	8.7%	0.3%

⑧利用者の状態の経過変化の読みときやすさ

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.4%	8.3%	83.1%	6.9%	1.3%
施設系	132	0.8%	11.4%	79.5%	6.1%	2.3%
居宅系	419	0.2%	7.4%	84.2%	7.2%	1.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	6.8%	93.2%	0.0%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.3%	7.5%	82.3%	8.7%	1.2%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.7%	3.4%	85.1%	10.3%	0.4%
施設系	132	0.8%	3.8%	84.8%	10.6%	0.0%
居宅系	419	0.7%	3.3%	85.2%	10.3%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	90.5%	5.4%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.9%	3.2%	84.1%	11.3%	0.6%

⑨各職員が閲覧する書類の枚数

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない
計	551	4.0%	21.4%	67.3%	7.1%	0.2%
施設系	132	3.0%	18.2%	71.2%	7.6%	0.0%
居宅系	419	4.3%	22.4%	66.1%	6.9%	0.2%
居宅系内訳1	74	5.4%	27.0%	64.9%	1.4%	1.4%
居宅系内訳2	345	4.1%	21.4%	66.4%	8.1%	0.0%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増えた	多少増えた	変わらない	多少減った	大きく減った
計	551	2.2%	14.0%	75.9%	7.8%	0.2%
施設系	132	1.5%	15.2%	70.5%	12.1%	0.8%
居宅系	419	2.4%	13.6%	77.6%	6.4%	0.0%
居宅系内訳1	74	2.7%	17.6%	75.7%	4.1%	0.0%
居宅系内訳2	345	2.3%	12.8%	78.0%	7.0%	0.0%

⑩（インカムや引継ぎ・記録による）必要な情報の受け取り

現在の状況

	回答事業所数	非常に効率が悪い	効率が悪い	一般的である	効率が良い	非常に効率が良い
計	551	1.5%	13.2%	76.6%	8.2%	0.5%
施設系	132	3.0%	16.7%	72.0%	7.6%	0.8%
居宅系	419	1.0%	12.2%	78.0%	8.4%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	9.5%	87.8%	2.7%	0.0%
居宅系内訳2	345	1.2%	12.8%	75.9%	9.6%	0.6%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく効率が下がった	多少効率が下がった	変わらない	多少効率が上がった	大きく効率が上がった
計	551	0.7%	3.3%	86.4%	9.6%	0.0%
施設系	132	0.8%	3.0%	87.1%	9.1%	0.0%
居宅系	419	0.7%	3.3%	86.2%	9.8%	0.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	93.2%	4.1%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.9%	3.5%	84.6%	11.0%	0.0%

⑪主体性のある職員行動

現在の状況

	回答事業所数	非常に主体性が低い	主体性が低い	一般的である	主体性が高い	非常に主体性が高い
計	551	2.2%	22.7%	63.5%	10.5%	1.1%
施設系	132	2.3%	33.3%	56.1%	6.8%	1.5%
居宅系	419	2.1%	19.3%	65.9%	11.7%	1.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	10.8%	74.3%	10.8%	4.1%
居宅系内訳2	345	2.6%	21.2%	64.1%	11.9%	0.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく主体性が下がった	多少主体性が下がった	変わらない	多少主体性が上がった	大きく主体性が上がった
計	551	1.3%	6.5%	81.5%	10.5%	0.2%
施設系	132	0.8%	10.6%	78.0%	10.6%	0.0%
居宅系	419	1.4%	5.3%	82.6%	10.5%	0.2%
居宅系内訳1	74	1.4%	1.4%	86.5%	10.8%	0.0%
居宅系内訳2	345	1.4%	6.1%	81.7%	10.4%	0.3%

■介護サービスの質の向上について

①利用者のニーズ変化への柔軟な対応

現在の状況

	回答事業所数	ほとんどできていない	十分にできていない	ある程度はできている	必要に応じてできている	余裕をもってできている
計	551	0.5%	9.3%	59.7%	29.2%	1.3%
施設系	132	0.0%	15.2%	59.1%	24.2%	1.5%
居宅系	419	0.7%	7.4%	59.9%	30.8%	1.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	67.6%	27.0%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.9%	8.1%	58.3%	31.6%	1.2%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.7%	3.4%	77.7%	17.6%	0.5%
施設系	132	0.0%	5.3%	72.7%	22.0%	0.0%
居宅系	419	1.0%	2.9%	79.2%	16.2%	0.7%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	87.8%	9.5%	0.0%
居宅系内訳2	345	1.2%	2.9%	77.4%	17.7%	0.9%

②職員同士の協力のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）

現在の状況

	回答事業所数	非常に協力的ににくい	協力的ににくい	一般的である	協力的にしやすい	非常に協力的にしやすい
計	551	0.9%	7.8%	56.8%	29.0%	5.4%
施設系	132	0.8%	7.6%	59.8%	28.8%	3.0%
居宅系	419	1.0%	7.9%	55.8%	29.1%	6.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	59.5%	27.0%	9.5%
居宅系内訳2	345	1.2%	8.7%	55.1%	29.6%	5.5%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.7%	5.1%	72.4%	20.0%	1.8%
施設系	132	0.0%	7.6%	70.5%	21.2%	0.8%
居宅系	419	1.0%	4.3%	73.0%	19.6%	2.1%
居宅系内訳1	74	0.0%	0.0%	83.8%	13.5%	2.7%
居宅系内訳2	345	1.2%	5.2%	70.7%	20.9%	2.0%

③職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）

現在の状況

	回答事業所数	非常に発言しにくい	発言しにくい	一般的である	発言しやすい	非常に発言しやすい
計	551	0.9%	11.3%	58.6%	24.9%	4.4%
施設系	132	1.5%	10.6%	62.9%	22.7%	2.3%
居宅系	419	0.7%	11.5%	57.3%	25.5%	5.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	66.2%	21.6%	9.5%
居宅系内訳2	345	0.9%	13.3%	55.4%	26.4%	4.1%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.2%	5.1%	78.9%	14.5%	1.3%
施設系	132	0.0%	4.5%	78.0%	17.4%	0.0%
居宅系	419	0.2%	5.3%	79.2%	13.6%	1.7%
居宅系内訳1	74	0.0%	1.4%	82.4%	13.5%	2.7%
居宅系内訳2	345	0.3%	6.1%	78.6%	13.6%	1.4%

④各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	1.3%	13.8%	73.7%	10.3%	0.9%
施設系	132	1.5%	23.5%	66.7%	7.6%	0.8%
居宅系	419	1.2%	10.7%	75.9%	11.2%	1.0%
居宅系内訳1	74	1.4%	5.4%	75.7%	14.9%	2.7%
居宅系内訳2	345	1.2%	11.9%	75.9%	10.4%	0.6%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.2%	5.4%	79.9%	14.2%	0.4%
施設系	132	0.0%	4.5%	79.5%	15.9%	0.0%
居宅系	419	0.2%	5.7%	80.0%	13.6%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	1.4%	86.5%	12.2%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.3%	6.7%	78.6%	13.9%	0.6%

⑤現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度
現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	1.1%	15.4%	70.8%	11.8%	0.9%
施設系	132	1.5%	23.5%	62.1%	10.6%	2.3%
居宅系	419	1.0%	12.9%	73.5%	12.2%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	8.1%	83.8%	6.8%	1.4%
居宅系内訳2	345	1.2%	13.9%	71.3%	13.3%	0.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.5%	4.9%	79.5%	14.7%	0.4%
施設系	132	0.8%	7.6%	71.2%	19.7%	0.8%
居宅系	419	0.5%	4.1%	82.1%	13.1%	0.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	6.8%	85.1%	8.1%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.6%	3.5%	81.4%	14.2%	0.3%

⑥管理職クラスの求められる業務に関する理解度
現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.7%	12.2%	74.8%	11.1%	1.3%
施設系	132	0.8%	15.2%	70.5%	10.6%	3.0%
居宅系	419	0.7%	11.2%	76.1%	11.2%	0.7%
居宅系内訳1	74	0.0%	5.4%	83.8%	8.1%	2.7%
居宅系内訳2	345	0.9%	12.5%	74.5%	11.9%	0.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.2%	3.8%	83.8%	11.4%	0.7%
施設系	132	0.0%	3.8%	81.1%	13.6%	1.5%
居宅系	419	0.2%	3.8%	84.7%	10.7%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	90.5%	4.1%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.3%	3.8%	83.5%	12.2%	0.3%

⑦各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）
現在の状況

	回答事業所数	非常に悪い	悪い	一般的である	良い	非常に良い
計	551	0.2%	8.2%	69.9%	18.7%	3.1%
施設系	132	0.0%	11.4%	69.7%	15.2%	3.8%
居宅系	419	0.2%	7.2%	69.9%	19.8%	2.9%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	75.7%	16.2%	5.4%
居宅系内訳2	345	0.3%	8.1%	68.7%	20.6%	2.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく悪化した	多少悪化した	変わらない	多少向上した	大きく向上した
計	551	0.2%	3.8%	80.9%	14.2%	0.9%
施設系	132	0.8%	3.0%	81.8%	13.6%	0.8%
居宅系	419	0.0%	4.1%	80.7%	14.3%	1.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.0%	4.9%	78.6%	15.4%	1.2%

⑧各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）
現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.9%	10.7%	74.2%	13.4%	0.7%
施設系	132	0.8%	17.4%	70.5%	9.8%	1.5%
居宅系	419	1.0%	8.6%	75.4%	14.6%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	5.4%	81.1%	10.8%	2.7%
居宅系内訳2	345	1.2%	9.3%	74.2%	15.4%	0.0%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.2%	4.5%	81.1%	14.0%	0.2%
施設系	132	0.0%	6.8%	76.5%	16.7%	0.0%
居宅系	419	0.2%	3.8%	82.6%	13.1%	0.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	0.0%	89.2%	10.8%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.3%	4.6%	81.2%	13.6%	0.3%

⑨各職員の利用者に対する観察力

現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.5%	9.1%	67.9%	21.1%	1.5%
施設系	132	0.8%	12.9%	66.7%	17.4%	2.3%
居宅系	419	0.5%	7.9%	68.3%	22.2%	1.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	6.8%	74.3%	16.2%	2.7%
居宅系内訳2	345	0.6%	8.1%	67.0%	23.5%	0.9%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.5%	4.7%	75.7%	18.5%	0.5%
施設系	132	0.8%	3.8%	73.5%	21.2%	0.8%
居宅系	419	0.5%	5.0%	76.4%	17.7%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	86.5%	9.5%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.6%	5.5%	74.2%	19.4%	0.3%

⑩各職員のチーム意識の強さ

現在の状況

	回答事業所数	非常に弱い	弱い	一般的である	強い	非常に強い
計	551	1.1%	13.1%	67.2%	16.2%	2.5%
施設系	132	1.5%	17.4%	69.7%	9.8%	1.5%
居宅系	419	1.0%	11.7%	66.3%	18.1%	2.9%
居宅系内訳1	74	0.0%	6.8%	75.7%	12.2%	5.4%
居宅系内訳2	345	1.2%	12.8%	64.3%	19.4%	2.3%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.4%	6.5%	77.5%	14.5%	1.1%
施設系	132	0.0%	6.8%	78.8%	14.4%	0.0%
居宅系	419	0.5%	6.4%	77.1%	14.6%	1.4%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	83.8%	10.8%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.6%	7.0%	75.7%	15.4%	1.4%

⑪職員と管理者のコミュニケーション時間

現在の状況

	回答事業所数	非常に少ない	少ない	一般的である	多い	非常に多い
計	551	1.3%	12.9%	70.4%	14.0%	1.5%
施設系	132	0.8%	18.2%	68.2%	11.4%	1.5%
居宅系	419	1.4%	11.2%	71.1%	14.8%	1.4%
居宅系内訳1	74	0.0%	2.7%	83.8%	9.5%	4.1%
居宅系内訳2	345	1.7%	13.0%	68.4%	15.9%	0.9%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく減少した	多少減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した
計	551	0.9%	4.9%	81.9%	11.4%	0.9%
施設系	132	0.8%	4.5%	79.5%	14.4%	0.8%
居宅系	419	1.0%	5.0%	82.6%	10.5%	1.0%
居宅系内訳1	74	0.0%	0.0%	89.2%	9.5%	1.4%
居宅系内訳2	345	1.2%	6.1%	81.2%	10.7%	0.9%

⑫職員間の人間関係に関するストレス

現在の状況

	回答事業所数	非常に多い	多い	一般的である	少ない	非常に少ない
計	551	2.7%	18.1%	66.8%	10.5%	1.8%
施設系	132	2.3%	21.2%	72.0%	3.8%	0.8%
居宅系	419	2.9%	17.2%	65.2%	12.6%	2.1%
居宅系内訳1	74	0.0%	9.5%	73.0%	10.8%	6.8%
居宅系内訳2	345	3.5%	18.8%	63.5%	13.0%	1.2%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく増加した	多少増加した	変わらない	多少減少した	大きく減少した
計	551	1.8%	10.9%	77.3%	8.9%	1.1%
施設系	132	1.5%	10.6%	79.5%	8.3%	0.0%
居宅系	419	1.9%	11.0%	76.6%	9.1%	1.4%
居宅系内訳1	74	0.0%	8.1%	85.1%	4.1%	2.7%
居宅系内訳2	345	2.3%	11.6%	74.8%	10.1%	1.2%

⑬各職員の、この職場で働くことに対する意欲
現在の状況

	回答事業所数	非常に低い	低い	一般的である	高い	非常に高い
計	551	0.5%	9.6%	78.0%	11.1%	0.7%
施設系	132	0.8%	11.4%	81.8%	5.3%	0.8%
居宅系	419	0.5%	9.1%	76.8%	12.9%	0.7%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	83.8%	10.8%	1.4%
居宅系内訳2	345	0.6%	10.1%	75.4%	13.3%	0.6%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく下がった	多少下がった	変わらない	多少上がった	大きく上がった
計	551	0.7%	5.8%	84.6%	8.7%	0.2%
施設系	132	0.0%	3.8%	91.7%	4.5%	0.0%
居宅系	419	1.0%	6.4%	82.3%	10.0%	0.2%
居宅系内訳1	74	0.0%	1.4%	87.8%	10.8%	0.0%
居宅系内訳2	345	1.2%	7.5%	81.2%	9.9%	0.3%

⑭各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間）
現在の状況

	回答事業所数	非常に少ない	少ない	一般的である	多い	非常に多い
計	551	1.5%	16.5%	71.3%	9.8%	0.9%
施設系	132	1.5%	20.5%	67.4%	9.1%	1.5%
居宅系	419	1.4%	15.3%	72.6%	10.0%	0.7%
居宅系内訳1	74	1.4%	8.1%	82.4%	6.8%	1.4%
居宅系内訳2	345	1.4%	16.8%	70.4%	10.7%	0.6%

1年前と比べて

	回答事業所数	大きく減少した	多少減少した	変わらない	多少増加した	大きく増加した
計	551	0.4%	7.3%	81.3%	10.3%	0.7%
施設系	132	0.0%	8.3%	76.5%	13.6%	1.5%
居宅系	419	0.5%	6.9%	82.8%	9.3%	0.5%
居宅系内訳1	74	0.0%	4.1%	86.5%	9.5%	0.0%
居宅系内訳2	345	0.6%	7.5%	82.0%	9.3%	0.6%

■自由記述

(1) 経済的コスト削減への取組状況や課題

施設	値段が安い物に切替えても値上げするなど追いつかない。安い物に切り替えることが良いことなのか疑問。安い物は粗末な作りだったり、質が低下していると思う。
施設	日中時間帯での照明の削減。
施設	エネルギーコスト削減のため、LED照明の導入や電力契約の見直しを進めています。また、消費品の在庫管理を徹底し、無駄な発注や浪費を削減するようにしました。
施設	物価高によりコストがかかり必要なものであり削減が難しい
施設	過度に経済的コスト削減は考えない。現状維持が良い。
施設	各種補助金の活用。人件費率の圧迫。
施設	賃金が低く希望が見えない。加算を取得するとその分書類作成の業務が増え、結果的にプラスにならないと感じる。
施設	消耗品のレベルダウン
施設	電気、灯油などの値上げで経費がかかる
施設	昨今における物価高や賃金引上げに伴い、運営上における無駄を最大限削減しているが、今後更なる支出流失は、運営に影響を落とすと考えている。
施設	経費削減のための業者選定を実施している
施設	コスト削減に努めても、これを上回る物価高で疲弊している。
施設	人経費率の増加が課題（法人全体として）
施設	人件費
施設	特に意識はしていない
施設	消耗品、光熱費等、節約を進めている
施設	コスト削減を考える場合、利用者に直接関わらないところから取り組みを行うため、やむを得ず職員の福利厚生が低下してしまうことになる。人材確保の観点からはそれも難しく厳しい状況にある。
施設	照明等の消費電力の削減には取り組んでいるが、それを上回る物価・人件費高に対応できていない。
施設	利用者やご家族の負担を考えれば利用料の値上げは出来ず、昨今の物価高騰状況を見れば規模の小さい事業所としては企業努力だけの限界を感じている。利用者には困難を感じない穏やかな生活を提供したいとの思いで、毎日の節約（献立や光熱水費）を続けても経営はひっ迫する一方で職員のお給料も上げられず職員の善意に助けられている現状である。
施設	残業時間減らすため業務の効率化を図っているが、定着するまで時間要する。職員の高齢化もあり新たな取り組みに賛同しなかったり、古いやり方に戻ってしまうケースが多い。今後を見据えた便利さより、現状を変えるという作業を面倒がる職員もまだ多い。
施設	人件費が年々増え続けているのに報酬は下がるかわらないのでいかにコスト抑えるかが課題
施設	よりコストの低い日用品に変更 LED電球への変更 節電を呼びかける 電力プランの変更など
施設	食材や燃料など物価上昇に見合った介護報酬が得られていない
施設	物価高騰や人件費高騰に比例した介護報酬の設定になっていない
施設	大きな削減にはならないが無駄をなくすよう購入品を検討したり最後まで使い切る等の実施。何でも多く使えばよいというものではないので使用量を守る等細かい部分で実施。
施設	物価の上昇が援助への影響がおおきい
施設	利用者に直接関わる経費は削れないので、施設の備品や日用品購入をNET等を活用し、経費を抑えている
施設	ペーパーレス
施設	節電や節約（物品の無駄買いをなくしている）
施設	省エネ対策、ペーパーレス化
施設	コスト削減の取り組みは行っているが、物価上昇に追いつかない。
施設	オムツなど消耗品の見直しによりコスト削減実施。しかし、物価高が継続していて削減になかなかならない現状である。
施設	施設は箱もののため、収入は上限がある。コスト削減は必須と思っている。
施設	介護報酬が減らされている中で、規模の小さい事業所なので取り組みに要する経費及び人材に難がある。
施設	施設で使用しているPCをリースから購入へと切り替えることで一時的な費用は大きかったがトータルのコストを削減した
施設	介護用品の使用方法等の検証を行い、製品の変更や使用方法を見直し使用個数、使用頻度を減らした。
施設	電気や灯油、ガソリン等燃料費の高騰で節約では追いつかない。個別対応を原則としていた短期入所の送迎等も同一方向を一緒にする等変更して対応せざるを得ない 当施設でいうと公設民営（公益社団法人）であることから、機器導入に対する高額な予算獲得も難しく補助金申請を検討して対応していきたい。
施設	経済的には、常によりよい方向を探し、改善していつている。
施設	可能な限り行っている、後は入居料金の値上げしかない。
施設	コスト削減は十分行っている、賃金上昇には入居料の値上げしかない。
施設	（取組）紙の削減…ICTを導入したことにより、申し送り等をタブレットで行えるようになった。実際に導入する前より紙の使用率は半分減った。 （課題）入居者の安全性の確保…デジタルに不慣れな職員もいるため見守りが手薄になり事故が起こらないように職員の配置の確認、職員間での声掛けをしていく。
施設	職員ひとりひとりの節約する意識は高いと思うが、物価高騰・光熱費の値上げ等で目に見える効果は得られていない現状である。
施設	事務費については、契約の見直しなどを行いコストの削減に取り組んでいる。
施設	事務費については、契約の見直しを等を行いコストの削減に取り組んでいる。

施設	食材料を安いものを探したり、野菜等は施設で作れるものは作ったりしている。
施設	介護職員の超過勤務が多い（人員不足）
施設	金額や作業時間等、数値で表すことにより課題が見えてくると思う。
施設	（取組）紙の削減、ICTを導入したことにより、申し送り等をタブレットで行えるようになった。 （課題）申し送りの単略化による伝達ミスがないような仕組み作り。
施設	介護ロボット・ICT技術の導入経費が高額であり、補助金の活用が必須である。
居宅	自宅訪問サービスにはコストがかかる。（過疎地）
居宅	現使用ソフトによりデータで提供票を各事業所へ送れない為FAXしているが用紙代や通信費がかかっており、法人へソフト変更を打診しているが聞き入れてもらえない
居宅	利用者様を増やす方がいいのか、このままでいいの悩んでいる
居宅	現在、Faxに使用する紙の量やインクは多過ぎると考える。
居宅	書類整備の簡素化
居宅	事業所の中でどこにコストがかかっているのか精査、妥当なコストなのかコストカットは可能なのか常に経理職員と検討している。事業所努力だけで出来るものなのか？
居宅	FTコミュニケーションズというNTT子会社に営業を受けうまくのせられて次々リース導入し経営を圧迫しているが一度契約すると7年間解約できないので、報酬を増やす事ができない(当事業所は経営者一人の職場)
居宅	利用者の食事（材料高騰等）対策努力は行っている。
居宅	介護報酬から必要経費を引くと利益がほとんどない状況
居宅	収入を増やすようにいわれても、思うように実績は伸びず、実績に結びつかないケースもあり、大変な面もある。収支が見合わないとな事業は成り立ちませんが、思うようにはいきません。
居宅	介護報酬費が低いので収益が上げられず新たな事業展開や導入に至れず。
居宅	人件費の検討
居宅	常勤職員が多く、利用者への対応は良くできているが、人件費がかかる。利用者が高齢化により在宅で生活できなくなっている。特に冬場は厳しく施設利用が増えてきている。
居宅	管理コストを計算して、業務量の軽減と大差ないと取り入れる必要性を感じない
居宅	物価高騰により利益が減少し設備投資が困難。
居宅	・連絡事項や回覧物をメール転送することで、紙・インク・印刷機のメンテナンス費用の削減に取り組んでいる。 ・情報の取扱いについて、ガイドラインやルール作りは必要と思われる。

(2) 時間的コスト削減への取組や課題

施設	介護保険法改正で事務量が増えた。生産性向上のため色々な機器を導入しても事務量が増えるので結局変わっていないのではないかと 思う。
施設	職員回覧をPC使用によりICT化。
施設	入居者の見守りやケアに時間を要しており、レクリエーションの時間が取れない
施設	過度に時間的コスト削減は考えない。現状維持が良い。
施設	今後人材不足が予測されている為、どんどんロボットを活用していき時間のコスト削減を行っていきたいと思っている。
施設	介護ロボット、ICT機器との活用。導入費用が高額。
施設	時間やコストを削るとサービスも結果的に衰退している気がする。
施設	ICT導入予定（インカム、見守り機器）
施設	ミーティング等の省力化
施設	現在の職員数の規定では、時間的コスト削減は困難だと思う。(特に夜間帯。)
施設	職員間における連携を重視。時間効率化を進めながら、時間的コスト削減には積極的な運営をしているが、急激な変化に職員が戸惑うこと がある。今後抜本的な改革を視野に展開した場合、ストレス等を感じなければと考える。
施設	ICT導入を進めている。
施設	業務内容の見直しと効率化に向けた意見を出し合える環境作りを行っている。
施設	加算取得等を目的とした活動の負担が増えている(特に管理者)
施設	リーダーを中心に相談して取り組んでいる
施設	機器の導入等、必要な場面で活用している
施設	書類削減、申し送り時間の削減を検討はしているが、以前のやり方に執着する役職がいるため、実施できない。
施設	生産性向上といいながら委員会の設置や研修、訓練等が増え生産性とは真逆の効果がある
施設	介護記録ソフト、インカム、自動体位交換マット、眠りスキャンの導入
施設	業務に支障が出てきたと見受けられた都度、業務の見直しを行い変更しています。変更の頻度も多いからか、なかなか定着できない状態 です。
施設	必要なICT機器を使用し、職員の時間的負担軽減をしていきたい
施設	事務量が多い
施設	小規模の事業所の為PCを2台活用し一方で入れた記録を確認しながら出来る環境にしている。
施設	社内研修をオンラインに切り替え、職員が個々に空いている時間で学習できるようにした
施設	マニュアル見直し
施設	申し送りが長い。物の置き場所等を決めても守られない。
施設	デジタルツールの導入で業務の効率化を図りたいのですが、職員も高齢化しており今から覚えるのも億劫のようである。
施設	役割制を進めスキルに合った作業を分業している。
施設	人員不足が年々悪くなっているため、残業時間増加・定時で退社できない状況が慢性的に継続している。業務改善に取り組んでいるも基本 的ケアの提供は必要であるため、時間削減の取り組みができていない。
施設	単純なマンパワー不足で、送迎や受診など必要時は削減できず。運営上必須の会議や研修を行うだけで、管理者や役職者は精一杯なところ はある。
施設	申し送り時間の短縮や記録時間の短縮に努め、ケア時間の確保に繋げる事は出来ているが、外部から求められる又は外部に提出する書類作 成は時間外で作成する事となり今後の課題となっている。
施設	上記切り替え時に時間的コストが増加した
施設	生活記録等の記入を簡略化、また施設内で統一を図り情報共有しやすいようにした。
施設	書類等の提出が多い
施設	現在、インカムと記録ソフトの拡充に着手したところ、これから生産性向上推進体制加算IIを取得しながら成果を検証していきたい。一 方、生産性向上のみにかかわらず介護報酬の加算取得においては、委員会、会議、研修開催、報告書類の作成等、何重にも委員会や会議を 要し、小規模施設では人員も限られており、時間が更に取りられる事実もあり。加算と時間や手間が合致しているかは疑問。
施設	その時の入居者の状況により変化する職場なので、時間的なことの削減は難しい。
施設	残業はほとんどなくなった。
施設	入居者の緊急様態変化以外で残業はほとんどない状態になっている
施設	(取組) ICTの活用…介護記録をデジタル化することにより職員の業務の削減、効率化を図っている。 (課題) ・職員のモチベーション維持…デジタル化に抵抗がある職員への動作指導など ・効率化による仕事の単調化への対策
施設	法改正に伴い、記録・入力するものが増え実質負担になっている。
施設	通信環境を整備し、報告や記録などの事務的業務の効率化を図っている。
施設	通信環境を整備し、報告や記録などの事務的業務の削減を図っている。
施設	人員不足により、長時間労働が常態化し、職員の体力的また精神的負担にもなり、モチベーションの低下が懸念される。
施設	現状の業務を把握する(時間等)ことにより取り組む課題を見つけていきたい。
施設	(取組) ICTの活用。排尿センサー・離床センサーの活用により効率的な見守りが出来ている。 (課題) 効率化により、仕事の単調化への対策。センサーだけを過信することによる転倒事故の防止。
施設	報酬改定による加算項目の追加により、加算要件を満たすために実施する内容が年々増えている。
施設	ITC、デジタル化移行への対応をする人材不足、雇うことが難しい
居宅	限界がある
居宅	取り組んではいるが限界だ。そもそも人材難な状況でどうやって時間のコスト削減に取り組めばよいか逆に提案してほしい。

居宅	機材や介護ソフトを使用し、書類作成を効率化している。
居宅	時間の使い方や優先順位の考え方に課題を感じる
居宅	訪問介護の単位数が下がり、経営は厳しい。近隣の町の事業所が廃止になり、希望者があるが対応できない。特別地域加算が欲しい。
居宅	1つの用紙で複数の役割をこなせるように内容の見直し ケアプランや実績等のデータ連携が早く進まないかと思っている →FAXでのやり取りは大変な手間を要する、介護ソフトであれば数分で終了できるのに..
居宅	ICT等新しい事の受入れが難しい人材もいます。 業務効率化の為に事とはいえ、覚えるまでの時間がかかりかかっているとともに、それを見直す（チェックする）時間負担が多くなっており、時間的コスト削減につながっていない状況が課題となっています。
居宅	費用を抑えて情報共有するために、ラインワークスを利用している。
居宅	人員配置が潤沢ではない為、コスト削減は難しい。
居宅	いろんな要件を満たすために、日々時間が追われる。確認も見もしない記録等必要なのだからかと疑問があります。 簡素化するためには、国指定の介護ソフトで、申請から記録、請求等管理できればいいのでは
居宅	利用者の生活スタイルに合わせると事業所視点での業務（時間配分）ができない事が多い。
居宅	zoomの使用やLINEを活用し集まらなくても情報共有が出来るようにした。全体会議などは集合会議になっているが効率的に時間を使えるように事前にある程度内容を共有している。
居宅	業務内容の見直し（重要度が低く、必要性も低いものは見送る等）、業務内容の見える化（何を行うか具体的に）
居宅	職員3名のうち1名が計画作成をうまくできない為他2名にしわ寄せがきている他、新規や入退院調整が重なり、ほとんどの業務を他2名で行っている為業務内容のバランスが取れず、1名の指導をしたくても業務に追われている為、指導時間を取る工夫が必要と認識している。
居宅	無駄な時間外を無くしたいが、ご家族様や利用者様のニーズに応えると困難な事が多く、シフトのやりくりが難しい。
居宅	様式を簡素化したり情報共有にLINEを使用するなどしているが、丁寧な情報共有をしようと思うと、集合してディスカッションするので時間は費やしてしまう。
居宅	ICT、ソフトの導入により時間的コスト削減が可能であると考えます。
居宅	ITやDXを積極的に取り組む必要性は十分に理解できるが、大きな費用負担に阻まれる。
居宅	アンケートがたくさん送られてくるので、回答に時間がとられる。
居宅	人との人との繋がりの為、ある程度時間はかかると思わなければならない
居宅	時間外については声を掛け合い、必要性に応じて時間外削減の取り組みを行なっている。
居宅	求人に対する反応がないため人員不足で時間的な余裕が少なめになっている。
居宅	タブレット使用しても利用者の訪問に多く時間を取られると支援経過やモニタリングの記載に時間がかかり、又認定調査や研修時間も業務を圧迫する。
居宅	土日訪問希望への対応
居宅	職員が少なく募集しても応募がないが、研修、会議等やらなければならないものが増えてきて一部の職員の仕事が増えている。仕事の配分がうまくいかない。
居宅	定置定量や物品の発注の手順を整備したことにより、時間的コストの削減が図れている。記録の入力や職員との情報共有等スムーズにいく方法を考えていきたい。
居宅	事務作業の効率化を図るようにしている。 そのために機器の導入を検討したいが予算がない。
居宅	一人で経営しているので、事務作業から提出物、研修等全て一人でこなさなければならず、一日中休める日があまりない。
居宅	申し送りや通所介護記録、日誌等ソフト活用し1本化
居宅	作成しなければならない書類が多すぎ。スキルアップの研修ではなくその研修を受けなければその仕事ができない、更新更新の研修で費用も安くない。何とかならないものか。
居宅	ほとんど時間外勤務が無いようにしています。
居宅	タブレットへの記入に時間がかかる
居宅	書類が多量に発生している、減算にならない為に時間をかけて行っている
居宅	端末を利用しての記録記入への慣れ
居宅	人員不足による一人の仕事量増加。常に人員募集の情報更新心掛けている。
居宅	1年前と比べ利用者様の数が30人程増えました。そのため利用者対応（傾聴など）を優先すると残業が出ている現状があります。二重記載の削減や介護ソフトを組み込み、コスト削減に取り組んでいます。
居宅	高齢者への柔軟な対応や丁寧な姿勢、業務内容などにより効果が得られないところがある。時間評価することが困難だと課題を感じている。
居宅	人員の減少で、時間的余裕は非常に限られており、ヘルパーの増員がなければ悪化の一途を辿ると思われる。
居宅	経営者の意識が低い
居宅	チャットの活用により業務を共有して手の空いた者が協力する
居宅	人材不足のため、ギリギリで成り立っている。余裕がなく疲れ切っている面もある。
居宅	在宅訪問は、移動時間が生じる為 時間や収益の効率が悪く課題の一つであると考えます。 近隣の訪問看護ステーションでも、在宅訪問を中止し関連施設内の訪問のみに変更されている事業所が見られます。
居宅	書類の様式の簡素化
居宅	仕事量の振り分け依頼するが技量かついていかず、サービスの他に業務対応となるため期限を守れない、優先順位の決定が出来ず、依頼した仕事自分が戻ってくるため時間外で自分の仕事、他の依頼されてる仕事をこなさなければならないため、中堅職員育成をどうしていくか模索中である。

居宅	無駄な時間がまだまだ多い。
居宅	利用者の状態の変化が頻繁にあり、できるだけ職員の集合している状態で会議を行いたいと考えているが、常に業務に従事しているスタッフは必要である事等、全員が一同に会する事が難しい。また、時間が取れない。
居宅	人員を増やす
居宅	計画書等書類業務の多さが時間外業務につながっているため、もう少し簡略化して欲しく、介護保険改定のたびに様式を作り直すと時間もコストもかかってしまうので検討して欲しい。
居宅	様々な研修会の参加、報告書の作成、提出書類などに追われて利用者やその家族に向き合ったり、関連機関との情報共有する時間が削られている。勤務時間内に終わらず、残業もできないのでどんどん作成書類などが溜まっていく一方である。
居宅	実際に人手がいる時間帯や業務を職員で話し合い、それにより勤務の形態や人数の割合を変えるようにして、時間がかかるような業務も負担なく行うようにしている。
居宅	業務にあわせて、有休消化している。
居宅	電子化
居宅	記録方法、様式の工夫
居宅	効率的なシフトでのサービス提供
居宅	テレワークの積極的な導入の成功により改善した。
居宅	業務効率化、役割の見える化
居宅	書類の見直し、記入方法の統一等で書類作成の効率化を図りたい。
居宅	時間外勤務の工夫をしている。
居宅	人によって、介助時間、記録に要する時間などにばらつきがある。
居宅	介護報酬改定に伴うBCPなど書類業務の増加により、生活相談員や施設長の業務がとにかく圧迫されている。残業も増えた。
居宅	現在施設内の訪問が多いが、施設内だと移動時間の短縮で経過、ただ在宅への訪問では上記コスト削減部分でも記入したが、動線の見極めが大事である。
居宅	遠方の利用者に対し効率よく回れるように訪問y艇を組んでいる
居宅	担当者によって訪問時間にばらつきがあり、時間管理がされていないケースがある。
居宅	人員確保に余裕がなく職員に感染症発症等アクシデントがあれば残業が発生しやすい
居宅	無駄がない動線を考慮
居宅	時間がかかりそうな業務は送迎近いところや残るのが可能であれば優先的に残って業務に取り組んでもらう。
居宅	介護記録システム導入により記録時間の短縮にはなった。
居宅	手書きでの記録記入が多いため機器を導入できれば時間的コスト削減となるが、導入に至っていない状況である。
居宅	改善策を挙げて取り組んでいるが、一部理解が十分でないスタッフもいる。
居宅	効率を良くするために見直し等を行いたい、普段の業務に追われ時間が作れない。
居宅	・業務の優先順位…業務の重要度・期限に基づいてタスク整理をし、重要である業務、期限がある業務から取り掛かるようにしている。 (課題) ・利用者様の満足度維持・利用者様の安全性の確保
居宅	訪問介護では利用者間の移動時間が、利用者様の住所やサービスの開始・終了に伴って変化など、時間的コストの効率性の追及は、難しい状況にある。
居宅	介護ソフトの導入を検討している。
居宅	ICT機器の導入により記録時間の短縮にはつながっているものの、機能を熟知できておらず十分に使いこなせていない。
居宅	ICT導入
居宅	スケジュール管理に努めており、緊急対応がある時は適切に時間外勤務を行っている。
居宅	ICT導入後も訪問看護報告書・計画書・看護記録等の書類作成に要する負担が大きい。
居宅	新たな介護ソフトとタブレットの導入
居宅	申し送りや記録用紙への内容が同じ場合は、記録用紙を参照するなど手間を減らしています。
居宅	時間的コスト削減に目を向け、取り組む準備を始めるための業務改善への着手。
居宅	隙間の時間を利用する
居宅	報酬改定による加算項目の追加により、加算要件を満たすために実施する内容が年々増えている。
居宅	ICT化検討しているが、職員の高齢化に伴い導入に理解が困難。
居宅	業務に偏りが生じているが、解消できていない
居宅	・システム内へ情報共有事項を入力。また、メール転送することによりファイリング作業が省略できる。 ・課題：クラウドストレージ等容量についてや、フォルダ分け、必要不要の判断時期を誰が決めて行うのか。

(3) 人材育成や定着に向けた取組や課題

施設	ワークライフバランスが地域によって差があり、育児と仕事の両立が難しく定着に不安。
施設	働きやすい環境整備・業務改善の構築。
施設	人材育成に関わる研修や資格取得の時間や予算を確保して人材が定着できるように検討している。
施設	指導や育成の時間が十分に確保できず進んでいない
施設	年2回の職員研修と新人職員の研修をもれなく行っていく。介護職員には介護に関する研修を選択して研修に参加させる。介護職員の負担にならないように研修参加を考えていく。
施設	指導方法、給与体系、キャリアアップづくりに苦慮している。
施設	賃金アップ
施設	課題は若年層定着
施設	人材不足で業務がひっ迫している。育成に時間が取れない。
施設	介護職の賃金の低さは定着の妨げになっている。介護職員に対する社会的地位の低さも原因の一つと思う。
施設	段階的に個々に合わせた人材育成重視したいが、必要な時間確保が課題と言える。また業務改善や有休取得の促進などで定着を図ってるが、職員も高齢化しており、新たな人材確保できるかが今後の課題である。
施設	慢性的な人材不足である。様々な方法を屈指しても厳しい状況である。
施設	記録など残さなければならぬ書類が多くて本来の業務である介護の時間が削がれているのではないかと感じることがあります。
施設	”ほどほどに”働ければよいという意見が多い 法人全体で正社員登用へのハードルが下がっているのも一因
施設	有給を出来るだけ使えるようにしている
施設	人材不足により、新人職員の指導にかかる時間に限りがある
施設	離職後他産業に流れる人材が増えており、介護業界全体の職場環境の底上げが必要である。新しいことに取り組みたくても、現状の維持が精一杯の状況。
施設	若い世代に多いのだが、キャリアを積みたいと思う職員が少なく、必要以上に研修を受けたがらない。また、しつこく求めると退職してしまう。
施設	介護は誰でも出来る仕事というイメージがあるせいか、年々 新たに入ってくる職員の年齢・質ともに低下してきている印象がある。入職してからの研修やOJTなどを行い学んでいくことで介護の仕事の奥深さや充実感を感じてもらい、スキルアップと定着を図っている。
施設	職員人数が少ない中で、人材育成、指導は十分な時間が取れず厳しいものがある。研修受講だけでは身につかないことが多く、コミュニケーションをとりながら指導育成できる環境になればと願います。このままだと介護倫理感も持てない人材があふれるだけ。
施設	資格取得や有休の取りやすさに取り組む
施設	ノーリフト、生産性向上などの取組を行っている
施設	各委員会が職員の状況に応じ、必要とされる知識や技術習得へ向けてOJTを実施していますが、十分な時間確保が困難な状態です。
施設	新採用、中途採用共に大事に育てているが、特に中途採用者は働いてみなければ分からないところがあり新採用職員より経験が多い分教育が難しい
施設	人材不足と外国人材登用により、発生する様々な課題がある
施設	管理者やリーダークラスが業務に入らないと入居者介護などが回らなくなる状況もあり、育成するときにしっかり関わる事が難しい。出来る範囲で行なっても振り返りの行動を確認する等は毎回はおこなえていない。
施設	介護専門職の育成教育機関が減少しており更に学生の質が低下している
施設	今年度からオンライン研修を活用し、職員全体のキャリアアップを図っている
施設	希望している研修のアンケートをとった
施設	研修参加者が少ない。受け身の新人が多い。
施設	職員が長く働き続けられるよう、労働環境を整えていくことを一番に考えている。
施設	研修を充実させたいが、研修時間の確保が困難
施設	定着率が悪い。
施設	とにかく職員不足で日常ケア業務で精一杯な現状である。職員のストレスが多く、この状況で育成してもモチベーションも低く、返って負担やストレス増大させてしまう傾向にあります。
施設	単純なマンパワー不足で、送迎や受診など必要時は削減できず。運営上必須の会議や研修を行うだけで、管理者や役職者は精一杯なところはあつた。研修の工夫に割く時間を、当事者がつくるには、通常業務の効率化だけでは難しいと考えている。
施設	人材定着に向け個人の勤務体制に対する要望を柔軟に受け入れるようにしているが、他の職員にかかる負担の分散に限界があり今後の課題となっている。
施設	実習委員会を立ち上げ、OJTの仕組みづくりを図った
施設	募集に対して人材が集まらないのが第一にある。人材育成や定着に向けた取り組みも日常的な対応や施設内研修にとどまり改めては難しいのが現状
施設	それぞれの生活環境に配慮し、助け合って課題を解決するようにしている。
施設	全体で行いたいのが、24時間のシフトの中で行う時間を作りづらい。
施設	24時間シフトの中で全体的な研修時間確保に苦労する。
施設	(取組) 外部研修への参加支援…積極的に外部研修に参加出来るように、シフト調整など柔軟に対応している。 (課題) ・人材確保、定着…職業説明会などに取り組んでいきたい。 ・世代間ギャップの解消…職員間の価値観の違いや仕事に対する考え方のズレを速やかに解消できるようにコミュニケーションを増やし、ミーティング等を設けたい。
施設	職員、特に入職者については、研修などでフォローを手厚くするなどの対応をしている。
施設	職員、特に入職者については、研修などでフォローを手厚くするなどの対応をしている。

施設	経済的に余裕がなく、人員不足もあり全くできていない。
施設	入職希望者への説明会を地域で実施し、地域住民への施設としての役割の理解を求めた。結果、1名の人材確保に繋がった。
施設	生産性向上の取り組みが進まず悩んでいる（各部署管理者） 職員の定着率も課題である
施設	新希募集を行っても応募がない。
施設	（取組）外部研修への参加支援。 （課題）外部研修の報告会で学びを活かす取り組み、内部研修の内容を充実させ実際にケアに活かす取り組みが必要。
施設	中途採用の人材は増えるが、若年層が増えづらい。
施設	職員の充足しないなかとっており、養成時間を持つのが限られる
居宅	育成困難な人材が多く、権利だけを主張する自己中心的人材が多い気がする
居宅	育成するための人材確保が困難（求人募集しても来ない）
居宅	経済的、時間的の部分にも記載したが人材育成や定着の前に人材がいない状況で書類も簡素化としているがそもそもの書類が多く、取り組みまで回らない状況。
居宅	定期ミーティング等のオンライン参加を促進したいが、職員の高齢化によるものか理解を得れない。
居宅	育成について事業所で一番の課題と考える。どのように進めていいのかわからない
居宅	毎週1回の居宅会議にて困難事例を検討したり、情報共有したりしている。
居宅	訪問介護事業所は、利用者様と1対1でのサービスが主体となる事で、人材にもよりますが育成期間も最低でも1ヶ月以上は必要です。サービスの質の低下に繋がる為、しっかりとした育成プランが必須となり、その十分な育成期間を設ける事の困難さも痛感しております。
居宅	職員間のコミュニケーションはうまく取れていると感じているが、本音はわからない。 つらいと感じている職員もいると思っている。できるだけ汲み上げたいと思っている。
居宅	働きやすい職場環境・サービス提供方法 →人数にあった営業日数の理解 →少人数職員で週に何日営業することがベストであるのか経営側と現場側の理解
居宅	人材育成に十分な時間をかけられないのが課題である。
居宅	県認証制度取得により課題解決。
居宅	資格を要する仕事なので、資格取得を無料にしてほしい。介護福祉士は特に費用が高い。 介護に関する仕事にもっと目を向けられるような制度を考えてほしい。
居宅	利用者の意向を念頭に職員の意見を尊重し最善のケアを目指し取り組んでいます。
居宅	新人研修は対面形式で行っているが時間の確保が困難。中途採用の方が定期的に入職するとその度に時間を取られストレス。
居宅	コミュニケーション研修開催
居宅	求人を出しても希望者がなく、系列施設で資格を持った人に声かけし居宅勤務になった1名が定期的に「辞める」と意思表示する為、困難事例は避けて担当させているが、他2名の負担が大きい為少しづつでも時間を作り業務指導をしたいと思う。
居宅	チューター制度で対応したり、OJT、メンタル、ハラスメントの研修を受けて貰ったりし、 様々な面でサポートできる体制を構築している。
居宅	外部研修やそれぞれの課題に対してのOJTをもっと丁寧に行いたいが必要最低限の研修や振り返りしかできておらず時間的、人力的余裕がないことが特に課題。
居宅	賃金改善、資格取得支援などにより人材確保、定着が今までよりもよくなると考えます。
居宅	サービスの内容がよく知られていないことが離職に繋がっていると思われる
居宅	法人・個人とも租税や公的負担金の軽減を図って頂き、企業も雇用者も希望と安定を求めたい。
居宅	介護を必要とする人口は増えているが、人材の育成が追い付いていない。介護の3Kのイメージを変える取り組みが必要である。
居宅	私共も事業所はおばさん事業所の為に無理させないで出来るだけ頑張ろうと思っています
居宅	毎年、人材育成に向けた研修を実施出来ている。
居宅	コロナ後もZoom研修が多く、BCP、ハラスメント防止、クレーム対応等業務も多岐にわたる。自分自身のセルフマネジメントが大事でバーンアウトしないようにしてから人材育成にも時間が取れるのではないかと考える。
居宅	社内のルールや決まり、パソコンへの変換など新しいものにどんどん変更していかなければならないが、それに追いつけない職員の不満があり、指導がうまくいかない。
居宅	誰もが標準的に出来るようにマニュアル化または見直しを実施し。実践、評価、改善を繰り返している。「直接的なケア」と「間接業務」を適切に役割分担したことで必要な業務に時間をとれている。
居宅	生産性向上に取り組むことで、業務環境が整うことが魅力ある職場につながり人材定着にも効果があると考えている。
居宅	各々の職員に研修計画を作成、勤務や経験年数、興味のある研修に自由に参加できるようにしている。 当事業所は居宅介護支援事業所である為、主任ケアの育成に取り組んでいるが、そもそもケアマネになりたいと思う職員の確保が難しい。 （業務量の多さと精神的なストレスがかかる割に給与が低い。現状、処遇改善加算など加われば現場の介護職員の方が給与が高いことが原因か？）
居宅	研修にはできる限り参加している。現在の経営状況では事務員等を雇えない。
居宅	毎日の業務に終われ、時間内の勉強会確保が困難。職員数に余裕がない。
居宅	給料面だけでなく、休日に対する要望も強くなり、叶わないとすぐ辞めてしまう。
居宅	働きやすい福利厚生や勤務内容にしています。
居宅	職員の質のレベル向上が課題である。
居宅	教育マニュアルの見直し

居宅	50代の職員が多く、若い職員の配置がない
居宅	居宅は相談業務の為、マニュアルが存在しない。その中での育成が十分にできているのか
居宅	福利厚生の上
居宅	理念を浸透させる等の項目があるが、どのように進めればいいのか不明。
居宅	新入時にはなるべく同じスタッフへ同行し、理解・進捗度の経過がわかるようにしている。 いざ独り立ちとなっても教えていないことをやりだすことも多い。
居宅	単なる転職ではなく他業種への転職が多い
居宅	時間的な融通や、良好な人間関係など、ここで働くことのメリットを感じることができる職場作りに取り組んでいます。
居宅	主となる職員の定着、業務負担の軽減など課題を感じる。
居宅	他産業のベースアップが顕著で、職員それぞれも生活があるため、他産業への転職を留まらせる理由がない。今後介護の職員はさらに多く必要な時代となるのに、圧倒的に他産業より給与水準が低く、3Kと言われる代表の仕事であるのに、介護点数の引き下げで経営は悪化している。さらに、上限点数がいつまでも変わらないのでは、単位数の変更をいくら行おうと無意味。上限点数も増やし、単価も上げ、他産業より給与面だけでも魅力のある業界にすべき。机の上だけで官僚が決めている制度なのだろうけど、介護の仕事をしている人間を明らかに見下している呆れた制度になっていると感じる。それでいて質を上げろ等と言われるのは心外で、質の向上などとうに戦国時代になっているこの業界では当たり前で、行政が求める質の向上など、所詮机の上の話としか思えない。事業者が安定した経営を行えるよう、少ない財源なのは百も承知であるが行なうべきだと考えています。
居宅	経営者の意識が低い
居宅	賃金の改善
居宅	人材育成の担当者が欲しい
居宅	十分な時間を取って指導する余裕がないこともあり、指導が不十分となりお互いのストレスとなることもある。
居宅	嫌がられる利用者への対応。各ヘルパーによって差がある。
居宅	訪問看護では利用者様の疾患が多岐に渡り、的確な判断が求められ個人の経験と知識による差がある。判断に迷うケースは携帯で連絡しているが、チーム間でタイムリーに情報共有できる方法を模索中です。
居宅	動画研修の導入
居宅	eラーニングを使用し研修している。子育てしながらも働きやすい職場作りを努めている
居宅	社内研修を同一の内容で行い、各事業所で別課題をその研修から見つけてもらい説明したり、資料配布し足並み揃えてもらっている
居宅	職場内の個別研修、OJTの取組に関し、人力で行うことに限界を感じている。人材育成について、ステップアップしていける枠組みづくりにICTを活用していきたい。
居宅	難しい。
居宅	介護技術向上に向け、勉強会を多く行いたいと考えているが、時間が取れない。
居宅	人員定着に向け基本給をアップしたいが経営状態が厳しいためできていない。
居宅	普段から業務の事や他の事でも声をかける。聞かれたことにしっかり答える。コミュニケーションを大事にしてどんなことでもいえる関係を築けるようにしています。 また、経営的・人間的な現在の状況も現場の職員にはできるところまで伝えて一緒に取り組めるような環境作りができるように心がけています。
居宅	管理者や指導的立場にある職員の人間性向上の為の学ぶ機会を作るべきと考えます。
居宅	募集しても新しい職員が入って来なく、職員が高齢化してきている。
居宅	賃金も安いので介護職に魅力さを感じる事が少ない。介護に意欲と情熱を持って従事しても現実の業務内容に押し潰されてしまう状況がある。
居宅	お客様やその家族にアンケートを取り、良かった点や課題などを職員同士で話し認め合い仕事に対するやる気や誇りを持てるようにしており、施設での勉強会はその時に気になった事柄（例、利用者の声掛けやBPSDの対応など）を取り扱い、自分が実際の現場で上手くいったことや失敗した事などを話し合ったりしており、職場内で話しやすい環境づくりを行っている。
居宅	職場の雰囲気や1番に考えた、定着環境を考えている。
居宅	全国共通のカリキュラム
居宅	研修への参加、資格取得
居宅	基本的なスキルや知識以外にも一人ひとりの得意なこと、好きなことを伸ばしていく。多種多様性を重視しています。人員不足のため、一人ひとりと向き合って話し合う時間が中々とれない。
居宅	専門職としての意識が低い。居宅介護支援の報酬よりも介護報酬が高いことによる離職。
居宅	人材育成のため空いた時間を利用し、インターネット研修を行っている。
居宅	新しい事をするのにも理解が難しい。また、アドバイザーなども充実させてほしい。
居宅	もっとノーリフティングに本格的に取り組みたい。施設内の指導者を増やしたい。モデル事業を引き受けたのはとてもよかったです。
居宅	介護職員の平均年齢も上がっており、介護職員の確保に苦慮している。ハローワーク、福祉人材センターへ求人を出しても人材の確保が難しい状況 外国人労働者を雇用する場合の助成金の支給とかあれば良いのでは？
居宅	トップダウンにこだわらない取り組みが長期的な人材定着に繋がると思われるが、柔軟な考えを会社単位で持つのは難しいところがある。
居宅	正看護師3名、准看護師2名で訪問中。それぞれ看護的な部分でのレベルの違いがあり。 適材適所なども考慮しつつ、訪問調整しているが、まだ指導が必要な職員あり。今後個別に指導していく。
居宅	個人の働き方の要望をできる限り受け入れるようにしているが、スタッフには不満を持つ者もいる
居宅	居宅介護支援専門員に関する介護報酬は、介護職員のそれと連動して引き上げてもらいたい。

居宅	頭数確保と最低限の質の確保との間のせめぎあい
居宅	相談は常時受け、働きやすさを図る
居宅	仕事の拘束時間が長い、連休が取りづらい 福利厚生を良くしないと人材の定着は無い。
居宅	現在の事業所規模に対して人員は不足ではないが、個々の能力を高めるための学習の時間は十分でないと思われる。
居宅	マニュアル化されていないが個別に合わせて対応している。相談するところが欲しい。
居宅	法改正から収入が減り、定着させるための人件費を確保できない。
居宅	・職員間のコミュニケーションを促進するため、定期的なミーティングの開催
居宅	人件費を上げているが応募に繋がっていないので、SNS活用の必要性を感じている。
居宅	収支から確保できる人材に余裕はなく、まとまった休みが取りづらい。
居宅	雇用条件の改善と魅力の発信を行う必要あり
居宅	若いヘルパーの雇用が難しいと実感しています。
居宅	人員不足により、人材育成に余裕を持って対応できない状況である。
居宅	訪問看護を希望する看護師が少ない為、人材確保が困難である。
居宅	報酬が低すぎて、人、物に充てられていない。
居宅	なるべく同行訪問や本人が不安にならないように見守り、声がけしながら本人が課題だと思っていることに対して、フォローしたり、一緒に考えてできるように導くことに取り組んでいる。
居宅	魅力ある小規模多機能型居宅介護について周知する取り組みを進め、人材確保に繋げていく。
居宅	中途採用の人は増えるが、若年層が増えづらい。
居宅	中途採用の人は増えるが、若年層が増えづらい。
居宅	中途採用の人は増えるが、若年層が増えづらい。
居宅	日々の業務に追われ、きちんとして育成や研修が満足にできていない
居宅	・個人面談を行い社内外研修等学習機会を継続的に実施。また評価等を本人へ直接フィードバックしている。ワークライフバランスを実現できるように休日を希望通りに（できるだけ）取れるようにしている。 ・課題：職員間の価値観の違いへの対応。今現在では中間管理職の育成について同のように行うか。

(4) 行政や関係団体に求める取組や支援

施設	介護報酬を上げてほしい。食費や居住費も実態に合っていないと思う。
施設	生産性向上（業務改善）を推進するにあたり、補助金の増額を希望。
施設	介護職員の負担になる取り組みはしない方が良く考えている。
施設	経済的バックアップを希望。
施設	技能実習生受入れに対する支援があればよい
施設	やむを得ない業務縮小に対する理解
施設	行政は事業所の運営等に協力をしてくださり、指導もわかりやすいと感じています。
施設	介護職員の人材不足問題が深刻化しています。この問題が解決できるよう行政にも協力して欲しい。
施設	提出の書類関係を簡素化してほしい。
施設	現介護報酬単価では今後の運営に支障があると感じる。人材確保が難しい深刻な局面、早急な報酬単価増を求める。
施設	物価高に対する介護報酬の見直しを短いスパンで行って欲しい。
施設	提出を求められる書類が多く、しかも複雑で時間に追われている。
施設	自己啓発につながる取り組み事例の紹介
施設	地域のBCPに関する情報を提供して欲しい。
施設	人材確保、育成に関する情報提供をお願いしたい
施設	取引業者等からの値上げはとどまらないが、介護事業では勝手な値上げをすることもできない。介護報酬の時期にこだわらない、柔軟な対応をお願いしたい。
施設	ICT・ロボット等の利便性は認めてはいるが、実用的かどうかは定かではなく、試すにはコストが高すぎる。 行政等で、無作為に選出した複数の施設で認証テストを行い、その商品のレポートを閲覧できるような仕組みを構築できるようにしてはどうか。（メーカーサイトはいいことしか口コミを載せないため）
施設	介護施設の看護、介護職員の人員配置基準を見直してほしい。 義務教育の段階から介護に関する教育、授業を必須科目としたらどうか。 まだまだ世間が持っている、介護福祉士のダークイメージを払拭してもらいたい。 介護福祉士で介護職に従事したことによる恩恵のようなものがあれば離職防止、人員不足解消に繋がるのではないか。
施設	物価上昇に伴う経済的支援、働く人の確保の人的支援がほしい
施設	今後見込まれる最賃などの人件費コストの増大見込と、現在の介護報酬における人件費分見込との差異を速やかに補填、是正していただきたい。
施設	外国人材活用は避けられない現実であり、そこに用する経費の支援制度があれば助かる
施設	人材確保への支援
施設	研修の企画 講師
施設	加算習得が複雑で、それに伴う業務が多いので基本報酬を上げて欲しい。
施設	介護ロボットやICT機器導入より、介護職員を派遣する・投入する対策を検討して欲しい。
施設	介護報酬を上げ、施設の収入を増やすことでしか解決しない課題がある。人件費や備品等に対する費用負担は大きい。
施設	この手のアンケートを減らしてほしい。あるいは1アンケートの回答量を減らしてほしい。このアンケートも長すぎて後半は適当にならざるを得なかった。 また、アンケート依頼の通知をするならば、その集計結果を公開するときも通知したほうが回答する側も意義を感じると思う。
施設	記録物が多くなり介護現場ではいかに介護時間を確保するかが課題となっている。介護保険が始まる前は入居者と関わる時間が多くもっと楽しく仕事が出来ていた気がします。行政には記録物の簡略化を強く要望したい。また、介護現場の原動力であるマンパワーを増やせる支援が欲しい。
施設	行政への各種申請の際、オンライン申請やペーパーレスにできないか
施設	可能であれば、燃料費等維持費の補助を検討していただきたい。
施設	物価高騰から、職員への賃金上昇が難しくなっていることから、少しでも支援してほしい。
施設	BCP等の研修頻度が増えている、本業に研修準備等がかなり増えている。 医療機関との業務連携について必ずしも協力的とは言えないため難しい場合も多い。
施設	各方面から研修等を行うよう要項が来るが、業務以外に毎月のように研修を行わなければならない、担当者の負担が多い。
施設	・教育、研修の支援を増やしてほしい。 ・介護職員向けの無料または低コストで受けられる研修プログラムなどの政策 ・オンライン研修の充実
施設	法改正に伴い、記録・入力するものが増え実質負担になっている。 生産性向上についても必要性は理解できるし、研修も必要だと思うが、委員会設置等の必修化は実質負担が増えることになる。 他の取り組みについても同様、教育は必要だが、やらないことでのペナルティを設けて現場の負担を増やすことで起こる弊害については考えないものなのだろうか？ LIFEについても、有資格者の状況や入力項目の多さ、煩雑さなど負担でしかない。一定水準のことができなければ怠惰であるかのような減算は、地方の人材難が深刻な地域にある事業所いじめにさえ感じる。
施設	光熱燃料や食材の高騰に対する支援。人材確保や定着を図る職員賃金底上げのための支援。
施設	様々な助成があると思うが、何が利用できるかをもっと具体的に教えて欲しい。書類などの作成の仕方なども指導してほしい。
施設	青森市における高齢化は他市町村同様に顕著であり、一方働き手である若年層は都市部へ流出しているため、移住者やUターン就職希望の学生への補助を厚くすることが課題である。
施設	介護職員等の人材不足を解消できるように取り組んでほしい。 介護報酬が3年に一度であることから、物価高騰、賃金向上へつなげる対応が難しいので柔軟に対応してほしい。

施設	オンライン研修の充実
施設	介護ロボット・ICT技術の導入経費の補助について、対象経費の拡大（PCなど業務効率化に欠かせない機器など）をお願いしたい。また、加算項目を増やすだけではなく、削減や統合、加算を取得しやすい（解釈し易い、加算要件の確認がし易い）仕組みづくりも併せて検討していただきたい。
施設	保険者である市町村の描く介護保険計画と介護保険サービス、人材不足が反映や取組がされていない
居宅	まずは、最低賃金を上げた分の対価保証（報酬額アップ）を当然に求めたい いい加減に大手企業を引き合いに出した給与や賞与アップの報道などはやめてほしい 中小企業のモチベーションを下げた何が楽しいのか、うんざりとした気持ちになる
居宅	施設設備等の更新や購入に係る経費の財政支援等。
居宅	そこまで行政に職員が必要なのか疑問。そういう人材を福祉だけでなく様々な職種に派遣すればよい。関係団体に関しては何も解決の糸口も見当たらないくらい現場では必要なかわからない研修ばかり実施しているように思える。
居宅	運営する法人への生産性向上への取り組みの義務化。当法人は訪問介護事業所の運営とサ高住の管理委託を受けて施設管理を行っているが、サ高住運営の法人が他法人のためか、全く生産性向上（特に介護に関する事）への取り組みがない。行政等で取り組むように促進してほしい。
居宅	①物価の高騰…各事業所ごとに物価に対する支援はない。ガソリンや日用品、業務にしようするものが高騰、以前より価格負担が増えている。 ②報酬改定…最低賃金をあげても技術職と言われる資格取得者の賃金が上がらない。一般的な賃金の上昇があれば資格がなくても働きやすくなるが、資格をもった職種の賃金や報酬があがらない状況では福祉の仕事に就こうと思う人がでない。報酬がたかいぶん大変と思って仕事をすれば介護だけでなく、医療、介護、保育やそれ以外の建築等の職種についても同様に資格をとって働こうとする人が増えるのではないか。 ③行政の仕事…公務員は24時間体制で虐待などに関われる体制を確保してほしい。また書類作成等も同様に交代勤務にして、どの職員も必要に備えてはたらいしてほしい。長期休暇に連絡がとれない。必要な書類が準備されず、請求ができない状況になるなど業務が滞る事が多い。
居宅	今後も認知症カフェの共同実施、よろしくをお願いします。
居宅	国へお願いをしたい。居宅のケアマネも処遇改善の対象としてほしい。 担当利用者の増加により、支援の質を保つ事が難しくなっていると感じる。
居宅	困難事例はかなり相談しています。うまく対応できないときは一緒に行動してくれているので、助かります。小さい町なので、課題は多いです。なかなか実現は難しいと感じているので、希望を伝えられない部分がある。保険者の苦労も理解できる。
居宅	介護医療報酬の減額が進んでいくことによる人材定着の難しさ →他業界の方が給料が上がりやすい・高い可能性
居宅	各種助成金があれば活用したい。
居宅	提出書類の簡素化。
居宅	上限価格が見直される度に時間や収入のロスが大きい、経営が年々難しくなり、人も雇えない。
居宅	現場を知らない人が、取組や支援内容を決めないでほしい。きれいごとの介護、看護を求め続け、強いることは業界から離れていく人を増やすだけである。
居宅	報酬単位の見直しと1単位単価の全国一律を要求します。
居宅	物価高に即した介護報酬の改定（介護・衛生用品、人件費、修繕費等に見合った報酬）
居宅	超高齢化社会になっていく介護業界で、過去最多の倒産件数になっているので生産性を上げる事は必要不可欠なのだから、タブレットの支給や機械導入のコストは全額負担してほしい所。
居宅	介護報酬がベースとなるため、介護報酬が上がらなければ職員の待遇を改善することは難しい。
居宅	処遇改善加算により現場の介護職の賃金が上がりケアマネの賃金より高くなった事により、資格を所持していても居宅勤務をしない傾向が多く居宅の高齢化も進んでいる為、単純にケアプランを作るだけではなく、本人や家族、環境等を総合的に把握し本人の自立支援を促すケアマネの存在意義を見直して評価してほしい。
居宅	介護職員の処遇だけではなく、介護施設で働く看護師やCMに対しての支援を明確にして欲しいと思います。CMがいなければ利用者確保は出来ません。看護師がいなければ運営が出来ない所や、加算を取る事が出来ないのですが、現場にだけ目を向けていて、根幹の所には目を向けていない気がします。
居宅	必要なのはわかっているが現段階で経済的コストが増加しているのに、これ以上コストをかけて生産性向上のために取り組めない。初期費用が大きく経済的体力も必要なので補助額を増やすか必要な場所に必要最低限の支給を行うかしてほしい。生産性向上させる目的なのに導入にかかる手続きや共有で生産性が低下している。（長い目で見たら生産性が上がるだろう事も理解はしている。）
居宅	請求業務の簡略化
居宅	現場の実態に即した支援と、将来の社会構造を見据えた取組を希望したい。
居宅	介護報酬が、物価高に追い付いていない現状では、小規模の事業の経営には、国の支援が必要である。
居宅	いつもお世話になっております。今後共宜しくお願い致します。
居宅	人材確保、介護職員の賃金の見直し、ICT補助
居宅	ケアマネジメントの役割・機能が変化しております。これまでの個別ケアプラン作成や地域への働きかけだけでは無く、総合ケアと地域を基盤としたケアのハブ機能、地域の課題把握、地域づくり、地域の社会資源の再構築・開発、政策提言・地域発展等、専門職の関与や協働により意思決定の選択技を広げ、意思決定のプロセスを支援、最適なサービスをマネジメント、在宅生活の限界点をあげられるようなケアマネジメントができるよう研修や取組み、支援をお願いしたい。
居宅	ICT機器導入にあたっての補助金の助成があることで導入に向けやすいと考えます。
居宅	生産性向上に対する情報を法人として得る努力をしているが、行政が研修を行ったり補助金の制度を作ってもらえることが取り組みの大きな後押しとなっている。

居宅	作成が義務付けられている書類の削減(経済的、時間的コスト削減につながるのでは?) ケアマネになりたいと思う人材の確保が出来なければ、事業所は成り立たず、在宅サービスを利用したくても、利用できない人が増える可能性が高い。 現在でもややその状況に近いと思われる。
居宅	当事業所は居宅介護支援のみ行っている。ケアマネの本来の業務以外に行わざるを得ない業務(シャドーワーク)を何とか減らせないものでしょうか。一人で経営していると、事務、経営とやるべき仕事が多く、それに加えてシャドーワークは増える一方。辟易しています。
居宅	介護報酬改定の際、分かりにくい点があるため、相談窓口を設けて対応して頂きたい。
居宅	現場を知らな政治家が、勝手に訳のわからない加算を設立して、職員の負担を増大している。
居宅	通所介護の報酬単価について抜本的改定が必要。職員確保が困難で対策が急務。
居宅	介護報酬の引き上げを希望する。在宅介護と有料老人ホームの訪問介護報酬が同一なのはおかしい。在宅介護の訪問介護の報酬を上げるべき。
居宅	月に何度となく書類提出の為に時間を取り市役所に足を運んでいる、業務負担が大きいと感じる
居宅	記録の削減希望
居宅	作成書類の削減
居宅	WEB研修など、容易に研修参加できるようになった。
居宅	各種の補助金やその申請、対応範囲をもっとわかり易く、柔軟に、承認されやすくすべき。承認までのハードルもだが、その後の縛りも強くハードルが高い。また、申請可能な範囲が狭すぎて柔軟性に欠けると思う。職場環境を良くしたいという気持ちのある事業者には優しくない。
居宅	介護報酬の改善、支援・補助申請手続き等の簡素化を求む
居宅	管理者に対する研修会
居宅	書類の煩雑性への検討
居宅	煩雑な書類の簡略化
居宅	ケアマネにも処遇改善手当を求めます。介護職もケアマネも給料ではほとんど差がないのに介護職は処遇改善手当があるため、ケアマネよりも給料が高いです。介護職をしている方が、給料も高いのでケアマネ職に魅力を感じない介護職の人が多いです。
居宅	計画や実績の報告書の簡潔化
居宅	在宅訪問の基本報酬の引き上げをご検討頂ければ幸いです。
居宅	訪問介護の報酬単価を下げないで頂きたい。 最低限現状維持。 賃上げをしたくても出来ない現状を理解して欲しい。
居宅	たくさん研修やセミナーがあって勉強になるんだろうなと思ってもサービスまわすのに手一杯で会場などに行く日程が組めませんでした。感染予防として何度かzoom研修があり、今後もいろんな研修が感染予防関係なしにzoom研修でできたらいいなと思っています。最初のやり方の説明で中堅職員がzoom研修受講させやすいし伝えやすいと感じました。
居宅	物価高騰対策(光熱水費、ガソリン価格、食費等)
居宅	介護現場は人員定着や、若い人材確保など様々な問題がある。そのため現場の声を聞いて反映してほしい。
居宅	独居老人や身元保証人、緊急時連絡先がない利用者に対する制度の確立をお願いしたい
居宅	介護職の就職相談会などの場をもう少し増やしてほしい。
居宅	報告義務や報酬減算などに紐付けしない様にして欲しい。
居宅	介護ロボットやICT導入の補助・助成の簡略化、予算の拡大
居宅	現場を混乱させないよう、取り組んでほしい?
居宅	民間で経営、運営している法人にも補助してほしい
居宅	福祉用具レンタル業者の立場の向上への取り組みを増やして欲しい
居宅	他の業種と比較するとまだまだ低賃金、ベースアップ率もかなり低く、特に家庭を持っている人にとっては厳しい業種だと思うので、賃金の改善をお願いしたいと思います。
居宅	検討会議等は積極的に介入いただけるが、最終的に行動するのはケアマネであり負担が大きい。ケアマネに対する直接的な支援を求めたい。
居宅	事業所として介護報酬改定がプラスになっているわけではないため、社員の待遇を上げることが困難。
居宅	ノーリフティングの技術研修を多く企画してほしい。若い職員(外国人含む)が1人で家を借りて生活できるように、東京都のような家賃補助をしてほしい。
居宅	養護老人ホームの措置費のup 処遇改善加算のup
居宅	人件費の負担ばかりが増えて介護報酬が上がらないのはおかしいです。
居宅	年々介護報酬を減らされ事業者努力では賄えないところまできており、介護が事業として成り立たなくなっている。介護保険の構造そのものの改革や1事業者で別業種も並行して事業を行えるような緩和策、書類やPC業務の大幅な削減が出来るよう仕組みの是正が必要と思います。
居宅	訪問看護事業所が段々と増えてきている。他訪看護事業所との連絡協議会へ参加し連携を深めている所である。情報交換などしながら、良好な関係を継続していきたい。
居宅	24時間体制で行っているが、夜間待機ができる人材が少なく、所長が待機を行う回数が多い現状。少しでもその部分に対する賃金の補助があれば頑張れる人材が増えるのではないかと考えております
居宅	どんなに声を上げたところで、今後2年間は何にも変わらないことは確定なため、なにも求めません。
居宅	介護人材確保のための支援を希望します。
居宅	手続きや規制の緩和
居宅	取り組みについては、理解するがそれに関するアンケートや提出する書類が多い

居宅	介護業界全体のイメージアップをし 従事する人の数を増やす。身体的負担が大きい、さらにご利用者やご家族からのカスタマーハラスメント的なこともあり精神的負担も大きい。
居宅	各種研修等を周知してもらえていることが助かっています。
居宅	・デイサービスへの運営補助金をもっと上げてほしい。 ・コロナ禍での補助金が予想以上に低く、驚きを感じた
居宅	職員の育成に必要な研修の開催と支援。また、調査等が多く時間を要するため軽減して欲しい。
居宅	雇用促進のための助成金を出資して欲しい
居宅	訪問介護事業を存続させる支援行って欲しいです。
居宅	困難ケースに対しては、高齢者支援センターに相談し助言をいただいている。
居宅	日本中が賃上げ、物価高に対して、介護報酬単価は利用者負担にかこつけて上がり、経営維持が難しい。
居宅	生産性向上に当たり、手間を改善していくうえで、行わなければならない書類の削減（例えば事業所自己評価）に関してもう少し簡潔な取り組み方を考慮していただきたい。
居宅	介護業務の魅力を子供たちに対し、発信していく取り組み。
居宅	デイサービスの介護報酬、処遇改善のベースアップの見直し
居宅	介護ロボット・ICT技術の導入経費の補助について、対象経費の拡大（PCなど業務効率化に欠かせない機器など）をお願いしたい。また、加算項目を増やすだけでなく、削減や統合、加算を取得しやすい（解釈し易い、加算要件の確認がし易い）仕組みづくりも併せて検討していただきたい。
居宅	行政がICT化していない。認定調査票、要介護認定申請書等デジタル化電送可能にすべき。
居宅	・加算要件の書類作成は効率化できず、年々増加傾向にある。・ケアプランデータ連携システムを導入する事業所が任意であり、導入が有料であるため一向に効率化とならない。行政が補助する等、導入の取組を積極的にすすめてほしい。・行政が資格を持っていても働いていない人の情報を把握し、人材の派遣事業的な事をすすめてほしい。※産休・育休中の1年半だけの勤務をしてくれる人を派遣してくれるなど。
居宅	幅広い情報の提供がほしい
居宅	・近年ケアマネジャーを目指す人が減少しています。更新研修が高額で負担が大きいことも一つの要因となっているため、行政が助成金を出すことで経済的負担が軽減できると思います。 ・介護予防マネジメント全般を居宅介護支援事業所へ。予防から介護まで一体的な支援体制となると共に、包括は国の施策や事業に集中できるようにあります。より広範な地域課題にも対応でき、より地域づくり、地域全体の支援体制を構築できると考えます。

度数分布表

@2024サービス種別

	n	%
訪問介護	155	28.1
通所介護	42	7.6
（介護予防）通所リハビリテーション	5	0.9
（介護予防）訪問看護	44	8.0
（介護予防）訪問リハビリテーション	5	0.9
（介護予防）短期入所生活介護	13	2.4
（介護予防）短期入所療養介護	2	0.4
居宅介護支援	67	12.2
（介護予防）訪問入浴介護	1	0.2
（介護予防）福祉用具貸与	20	3.6
特定（介護予防）福祉用具販売	3	0.5
地域密着型通所介護	16	2.9
介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	8	1.5
複合型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）	4	0.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	0.4
（介護予防）小規模多機能型居宅介護	15	2.7
介護老人保健施設	14	2.5
介護老人福祉施設	38	6.9
介護医療院	1	0.2
特定施設	9	1.6
（介護予防）認知症対応型共同生活介護	65	11.8
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	13	2.4
（介護予防）認知症対応型通所介護	3	0.5
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	0.4
通所型サービス	2	0.4
訪問型サービス	2	0.4
合計	551	100.0

@2024訪問介護員

	n	%
0人	352	63.9
1-9人	95	17.2
10-19人	68	12.3
20-29人	21	3.8
30-39人	9	1.6
40-49人	3	0.5
50人以上	3	0.5
合計	551	100.0

@2024サービス提供責任者

	n	%
0人	335	60.8
1-9人	214	38.8
10-19人	2	0.4
合計	551	100.0

@2024介護職員（注2）介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

	n	%
0人	242	43.9
1-9人	118	21.4
10-19人	118	21.4
20-29人	36	6.5
30-39人	18	3.3
40-49人	7	1.3
50人以上	12	2.2
合計	551	100.0

@2024介護職員のうち、外国人介護職員数

	n	%
0人	519	94.2
1-9人	31	5.6
10-19人	1	0.2
合計	551	100.0

@2024看護職員

	n	%
0人	267	48.5
1-9人	263	47.7
10-19人	20	3.6
20-29人	1	0.2
合計	551	100.0

@2024生活相談員

	n	%
0人	362	65.7
1-9人	188	34.1
30-39人	1	0.2
合計	551	100.0

@2024機能訓練指導員（PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）等）

	n	%
0人	418	75.9
1-9人	133	24.1
合計	551	100.0

@2024介護支援専門員

	n	%
0人	278	50.5
1-9人	271	49.2
10-19人	1	0.2
50人以上	1	0.2
合計	551	100.0

@2024上記以外の職員

	n	%
0人	236	42.8
1-9人	238	43.2
10-19人	59	10.7
20-29人	12	2.2
30-39人	3	0.5
50人以上	3	0.5
合計	551	100.0

@2024利用者数

	n	%
0人	3	0.5
1-9人	38	6.9
10-19人	87	15.8
20-29人	76	13.8
30-39人	64	11.6
40-49人	42	7.6
50人以上	241	43.7
合計	551	100.0

@2024平均要介護度（注3）平均要介護度は、自立は0、要支援1・2は0.375として算出してください。

	n	%
0以上1未満	11	2.0
1以上2未満	98	17.8
2以上3未満	239	43.4
3以上4未満	144	26.1
4以上	59	10.7
合計	551	100.0

@2024新規入職者数

	n	%
0人	188	34.1
1-9人	338	61.3
10-19人	19	3.4
20-29人	3	0.5
30-39人	2	0.4
50人以上	1	0.2
合計	551	100.0

@2024離職者数

	n	%
0人	175	31.8
1-9人	358	65.0
10-19人	16	2.9
20-29人	1	0.2
50人以上	1	0.2
合計	551	100.0

@2024求人発出件数（ハローワーク、人材派遣業者等合わせて）

	n	%
0件	160	29.0
1-9件	357	64.8
10-19件	22	4.0
20-29件	7	1.3
30-39件	2	0.4
50件以上	3	0.5
合計	551	100.0

@2024平均有休取得日数（1人あたり年平均）

	n	%
0日	12	2.2
0日から10日未満	328	59.5
10日以上20日未満	191	34.7
20日以上30日未満	17	3.1
30日以上	3	0.5
合計	551	100.0

@2024平均時間外労働時間数（1人あたり年平均）

	n	%
0時間	66	12.0
0時間以上20時間未満	377	68.4
20時間以上40時間未満	64	11.6
40時間以上60時間未満	22	4.0
60時間以上80時間未満	8	1.5
80時間以上100時間未満	8	1.5
100時間以上	6	1.1
合計	551	100.0

@2024良質な人材の確保が難しい

	n	%
いいえ	64	11.6
はい	487	88.4
合計	551	100.0

@2024今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない

	n	%
いいえ	124	22.5
はい	427	77.5
合計	551	100.0

@2024指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている

	n	%
いいえ	93	16.9
はい	458	83.1
合計	551	100.0

@2024教育・研修の時間が十分に取れない

	n	%
いいえ	121	22.0
はい	430	78.0
合計	551	100.0

@2024経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない

	n	%
いいえ	184	33.4
はい	367	66.6
合計	551	100.0

@2024新規利用者の確保が難しい

	n	%
いいえ	229	41.6
はい	322	58.4
合計	551	100.0

@2024介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している

	n	%
いいえ	270	49.0
はい	281	51.0
合計	551	100.0

@2024介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある

	n	%
いいえ	345	62.6
はい	206	37.4
合計	551	100.0

@2024管理者の指導・管理能力が不足している

	n	%
いいえ	269	48.8
はい	282	51.2
合計	551	100.0

@2024介護従事者間のコミュニケーションが不足している

	n	%
いいえ	374	67.9
はい	177	32.1
合計	551	100.0

@2024経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している

	n	%
いいえ	357	64.8
はい	194	35.2
合計	551	100.0

@2024利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している

	n	%
いいえ	347	63.0
はい	204	37.0
合計	551	100.0

@2024介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない

	n	%
いいえ	371	67.3
はい	180	32.7
合計	551	100.0

@2024雇用管理等についての情報や指導が不足している

	n	%
いいえ	336	61.0
はい	215	39.0
合計	551	100.0

@2024その他

	n	%
いいえ	532	96.6
はい	19	3.4
合計	551	100.0

運営上の課題その他

制度上の業務の範囲を超えてケアマネジャーが全てを行う状況になっている。介護保険上は介護職員ではなく、事務員と同等と考えていて報酬や業務内容に見合った職務ではないため、ケアマネジャーをやりたい、継続したいという人員が不足する。連絡調整にとどまらず、緊急時などもすべて対応する必要が出ている。今後の2025年問題や介護従事者の質の向上や確保ができない状況であれば、居宅介護支援事業所は業務に追われ、負担だけが増幅していく可能性が高いと思われる。家族もケアマネの判断で自分たちが判断や関りをもたなくてもなんでもやってもらえると勘違いしている。閉鎖する事業所も出ているため、介護保険を利用できない利用者や家族が増える事により虐待や社会問題が増える懸念がある。

報酬単位が下がり、処遇改善の算定率がアップし、物価高騰による影響もあり会社の運営が厳しい、報酬単位を戻してほしい。又利用者の限度単位数を超えた時など、真っ先に訪問介護事業所は標的になりケアマネから持ち出しサービスを強要され、単位を削られる事もある。

新規ケアマネの求人を出しても募集がない

慢性的な人材不足が課題となっています。

人口減少が止まらず、町自体に若い労働者がいない。その為、新しい人材を確保したくても出来ない状況が続いている。新たな介護の人材として外国人労働者を活用したいと思うが、年々人件費などの費用が上昇している中で、外国人材を雇用する為の人件費が捻出できない。どうか外国人労働者を活用したい企業に対して補助金事業を行って欲しい。

職員の応募をしても全く応募がなく、常に人材不足状態

介護離職防止、業務負担軽減のために業務の簡素化、ICT活用による効率化を図っているが日常の直接介護業務だけでも時間が不足しており、職員間への情報共有や伝達する時間がなく時間外で会議や残務処理しているため、残業経費が増えている。人員人材不足のため、事業に必要な書類の作成、法に基づいた必要書類の整備、国県町からのアンケート回答、提出書類作成に追われ、ご利用者、職員との対話ができている状況が続いている。人材育成に時間を割く時間もないため、職員のスキルアップが図れていない。

管理者の仕事が多すぎて他に手が回らない

経営者の理解不足

介護職員の処遇改善加算ばかりが上げられる為、管理者を含むその他の職員との賃金のバランスが成り立たない。非常に困っている。

訪問看護の需要はあるが、職員の高齢化や人員不足・業務量の多さに手が回らない状態。

新規の利用者を受け入れられない状態にある。

同じ介護職でも、訪問介護の人気のない。その為人材確保が難しく新規依頼が来ても受け入れることが厳しい状況である。

2024年3月の法改正により、訪問介護の単価だけが下がった。代わりに処遇改善については上げたと言っているが、従業員の賃金が微増しただけで、それに伴い逆に社会保険の増などで、利益の確保が困難となり、さらに経営が圧迫されることとなる。簡単すぎる仕組みだが、国はその辺の仕組みさえも理解できてないのか非常に不思議に思う。今後さらに同業種の閉鎖が増えていくことは確実なので、逆に国にとって不要な業種という判断で、実は業種の存在そのものを消すことが目的なのでは？と思うことがある。それが事実なら、弊社でも破産前にあえて事業所を閉鎖することも計画の一つとして考慮しておかねばと思う。不要と思われながらも運営する気にはなれない。

各方面から同じような内容のアンケートや調査が多すぎて時間が取られる

育児のある職員への法改正に対応できるのか不安がある（シフトが組めなくなる可能性がある）

職員確保のために人材紹介会社を利用しているが報酬に見合わないシステムだ。

介護報酬の改正から、収入が減り非常に厳しい経営状況。

在宅介護が難しく、ショート回数増ではなく有料等の施設入所になる傾向にある。

子育て世代の職員が多く、急な休暇が多い中、人材の補充もなく、一部の職員にのみ負担がかかってしまう。

@2024特に問題はない

	n	%
いいえ	551	100.0

@2024移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）

	n	%
いいえ	523	94.9
はい	28	5.1
合計	551	100.0

@2024移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）

	n	%
いいえ	521	94.6
はい	30	5.4
合計	551	100.0

@2024排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）

	n	%
いいえ	540	98.0
はい	11	2.0
合計	551	100.0

@2024見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）

	n	%
いいえ	350	63.5
はい	201	36.5
合計	551	100.0

@2024コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）

	n	%
いいえ	545	98.9
はい	6	1.1
合計	551	100.0

@2024入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）

	n	%
いいえ	447	81.1
はい	104	18.9
合計	551	100.0

@2024介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）

	n	%
いいえ	527	95.6
はい	24	4.4
合計	551	100.0

@2024機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）

	n	%
いいえ	500	90.7
はい	51	9.3
合計	551	100.0

@2024食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）

	n	%
いいえ	495	89.8
はい	56	10.2
合計	551	100.0

@2024認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）

	n	%
いいえ	537	97.5
はい	14	2.5
合計	551	100.0

@2024介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）

	n	%
いいえ	190	34.5
はい	361	65.5
合計	551	100.0

@2024介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）

	n	%
いいえ	268	48.6
はい	283	51.4
合計	551	100.0

@2024通信環境機器（Wi-Fiルーター等）

	N	%
いいえ	106	19.2
はい	445	80.8
合計	551	100.0

@2024バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）

	n	%
いいえ	385	69.9
はい	166	30.1
合計	551	100.0

@2024その他2

	n	%
いいえ	549	99.6
はい	2	0.4
合計	551	100.0

導入済みその他

データ連携システムを活用

導入資金がありません。

介護ソフトは国の一括管理型で統一した方がいい。

ソフト会社で金額や内容が違うので、データ連携がしづらい。データ連携が簡単にできれば、かなり業務の簡素化につながる

@2024移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）3

	n	%
いいえ	320	58.1
はい	231	41.9
合計	551	100.0

@2024移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）4

	n	%
いいえ	363	65.9
はい	188	34.1
合計	551	100.0

@2024排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）5

	n	%
いいえ	350	63.5
はい	201	36.5
合計	551	100.0

@2024見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）6

	n	%
いいえ	289	52.5
はい	262	47.5
合計	551	100.0

@2024コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）7

	n	%
いいえ	335	60.8
はい	216	39.2
合計	551	100.0

@2024入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）8

	n	%
いいえ	320	58.1
はい	231	41.9
合計	551	100.0

@2024介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）9

	n	%
いいえ	318	57.7
はい	233	42.3
合計	551	100.0

@2024機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）10

	n	%
いいえ	342	62.1
はい	209	37.9
合計	551	100.0

@2024食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）11

	n	%
いいえ	391	71.0
はい	160	29.0
合計	551	100.0

@2024認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）12

	n	%
いいえ	321	58.3
はい	230	41.7
合計	551	100.0

@2024介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）13

	n	%
いいえ	233	42.3
はい	318	57.7
合計	551	100.0

@2024介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）14

	n	%
いいえ	208	37.7
はい	343	62.3
合計	551	100.0

@2024通信環境機器（Wi-Fiルーター等）15

	n	%
いいえ	254	46.1
はい	297	53.9
合計	551	100.0

@2024バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成のためのソフトで転記が不要であるもの）

	n	%
いいえ	258	46.8
はい	293	53.2
合計	551	100.0

@2024その他16

	n	%
いいえ	548	99.5
はい	3	0.5
合計	551	100.0

導入希望その他

就寝中の体調把握ができる機器の導入
 点滴モニタリング装置
 介護従事者が高齢のため対応できない。

@2024導入コストが高い

	n	%
いいえ	32	5.8
はい	519	94.2
合計	551	100.0

@2024どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない

	n	%
いいえ	218	39.6
はい	333	60.4
合計	551	100.0

@2024ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える。

	n	%
いいえ	371	67.3
はい	180	32.7
合計	551	100.0

@2024技術的に使いこなせるか心配である

	n	%
いいえ	163	29.6
はい	388	70.4
合計	551	100.0

@2024誤作動の不安がある

	n	%
いいえ	175	31.8
はい	376	68.2
合計	551	100.0

@2024設置や保管等に場所をとられてしまう

	n	%
いいえ	172	31.2
はい	379	68.8
合計	551	100.0

@2024清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である

	n	%
いいえ	135	24.5
はい	416	75.5
合計	551	100.0

@2024投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）

	n	%
いいえ	221	40.1
はい	330	59.9
合計	551	100.0

@2024介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない

	n	%
いいえ	353	64.1
はい	198	35.9
合計	551	100.0

@2024職員への周知（使用方法等）

	n	%
いいえ	211	38.3
はい	340	61.7
合計	551	100.0

@2024その他17

	n	%
いいえ	536	97.3
はい	15	2.7
合計	551	100.0

導入課題その他

当法人は訪問介護事業所の運営とサ高住の管理委託を行っている。サ高住の運営が他法人のため運営している法人は生産性向上に対しての取り組みは行われない。

法人で居宅介護支援事業所に導入する意向がない

高齢職員の苦手意識が大きい

かかるなどのデメリットに思考が偏っている。機器使用に対する抵抗感、理解力不足

置いておく場所もだが、稼働するには狭くなる機器も多く諦めている事が多い。

始めのうちは使用するが、結局自分でやった方が早いとの事で使用しなくなる。

訪問介護は在宅での介護の為、在宅でも使えるものやコスト的に利用できるのかという疑問がある。あればいいと思うものもあるが、基本にお客様やご家族も必要性を感じていただけないと利用は厳しい。

①数年におよぶライセンス契約について

「〇年間のライセンス」などの契約となると、その間に新たな機器が出てコスト面から導入が難しい。現場職員は新しい機器が出て使い慣れた方を選ぶ傾向にある。

②導入に至るまでの課題について

ナースコール機能を兼ねた見守りセンサー機器は、メーカーも多く機能も類似しており比較が難しいが、一度に複数の機器を実際に見て比較できる展示会の機会が少ない。基本機能の他、メンテや停電時対応など比較材料を自分たちで収集する必要があり、検討・選定には時間・労力がかかる。現場職員の理解と協力を求める点から行う定期的な周知説明に必要な資料。メーカーも操作説明等してくれるが日中の職員全員参加は業務に支障が出るため複数回必要。など、各プロセスでかかるコスト・課題がある。

導入資金が無い

資金が無い

必要な時の差が大きく常に使うものとはいえない

どの機械が助成対象であり、助成を受けるためにはどのような書類を作成しなければならないかがわか小規模多機能計画書、ライフサポートプランに連動するものがないと思う。

現在検討中

事業所が小規模であるためと、職員の高齢化により法人全体でICT化に対する理解が困難。

@2024導入する必要がある課題や必要性を感じていない

	n	%
いいえ	377	68.4
はい	174	31.6
合計	551	100.0

@2024 (1) 「あおもり介護生産性向上相談センター」について知っていますか。

	n	%
知らない	209	37.9
知っているが、活用したことはない	297	53.9
知っており、活用したことがある	45	8.2
合計	551	100.0

@2024 (2) 厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

	n	%
知らない	125	22.7
知っているが、読んだことはない	220	39.9
(一部でも)活用し、取り組んでいる	18	3.3
知っており、読んだことがある	188	34.1
合計	551	100.0

@2024職場環境の整備 (3M (ムリ・ムダ・ムラ) をなくすための5S活動 (整理・整頓・清掃・清潔・しつけ))

	n	%
いいえ	186	33.8
はい	365	66.2
合計	551	100.0

@2024業務の明確化と役割分担 (人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築)

	n	%
いいえ	168	30.5
はい	383	69.5
合計	551	100.0

@2024介護ロボットやICT機器 (PC、タブレット等) の導入

	n	%
いいえ	267	48.5
はい	284	51.5
合計	551	100.0

@2024手順書の作成 (理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化)

	n	%
いいえ	293	53.2
はい	258	46.8
合計	551	100.0

@2024記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）

	n	%
いいえ	201	36.5
はい	350	63.5
合計	551	100.0

@2024情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）

	n	%
いいえ	307	55.7
はい	244	44.3
合計	551	100.0

@20240JTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）

	n	%
いいえ	323	58.6
はい	228	41.4
合計	551	100.0

@2024理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）

	n	%
いいえ	202	36.7
はい	349	63.3
合計	551	100.0

@2024実施済の項目はない

	n	%
いいえ	478	86.8
はい	73	13.2
合計	551	100.0

@2024職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）） 18

	n	%
いいえ	126	22.9
はい	425	77.1
合計	551	100.0

@2024業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築） 19

	n	%
いいえ	145	26.3
はい	406	73.7
合計	551	100.0

@2024介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入 20

	n	%
いいえ	201	36.5
はい	350	63.5
合計	551	100.0

@2024手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化） 21

	n	%
いいえ	158	28.7
はい	393	71.3
合計	551	100.0

@2024記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする） 22

	n	%
いいえ	131	23.8
はい	420	76.2
合計	551	100.0

@2024情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消） 23

	n	%
いいえ	147	26.7
はい	404	73.3
合計	551	100.0

@20240JTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）24

	n	%
いいえ	153	27.8
はい	398	72.2
合計	551	100.0

@2024理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）25

	n	%
いいえ	163	29.6
はい	388	70.4
合計	551	100.0

@2024実施予定の項目はない

	n	%
いいえ	436	79.1
はい	115	20.9
合計	551	100.0

@2024時間の確保

	n	%
いいえ	66	12.0
はい	485	88.0
合計	551	100.0

@2024実施体制の不備

	n	%
いいえ	138	25.0
はい	413	75.0
合計	551	100.0

@2024職場内での反発

	n	%
いいえ	326	59.2
はい	225	40.8
合計	551	100.0

@2024取組に対する理解不足

	n	%
いいえ	161	29.2
はい	390	70.8
合計	551	100.0

@2024ルール化の問題

	n	%
いいえ	155	28.1
はい	396	71.9
合計	551	100.0

@2024経済的な問題

	n	%
いいえ	114	20.7
はい	437	79.3
合計	551	100.0

@2024職員間の認識のばらつき

	n	%
いいえ	120	21.8
はい	431	78.2
合計	551	100.0

@2024その他26

	n	%
いいえ	546	99.1
はい	5	0.9
合計	551	100.0

予想される取組課題その他

導入コストやランニングコストが事業規模に見合っていない
 職員の高齢化による理解力の低下や、人材不足による指導的立場の職員の確保が難しい。
 管理者の担当業務が多く業務時間内では実施困難
 実施しているものについても継続の必要があるものには、はいと回答しております。
 年長的に受け入れても活用までに至らず、混乱状況にて退職者が増える可能性もあると予想される。

@2024困難は生じなかった

	n	%
いいえ	467	84.8
はい	84	15.2
合計	551	100.0

@2024(1)-1 利用者・家族とのコミュニケーション時間 <現在の状況>

	n	%
ほとんど確保できていない	16	2.9
十分に確保できていない	73	13.2
ある程度は確保できている	272	49.4
必要に応じて確保できている	169	30.7
余裕をもって確保できている	21	3.8
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく減った	12	2.2
多少減った	49	8.9
変わらない	385	69.9
多少増えた	94	17.1
大きく増えた	11	2.0
合計	551	100.0

@2024(2)-1 時間に追われる焦り感(心理的な負担) <現在の状況>

	n	%
非常に強い	59	10.7
強い	210	38.1
一般的である	253	45.9
弱い	23	4.2
非常に弱い(全くない)	6	1.1
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増えた	50	9.1
多少増えた	130	23.6
変わらない	331	60.1
多少減った	34	6.2
大きく減った	6	1.1
合計	551	100.0

@2024(3)-1 質の維持向上(OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討)に活用可能な時間 <現在の状況>

	n	%
ほとんど確保できていない	46	8.3
十分に確保できていない	173	31.4
ある程度は確保できている	232	42.1
必要に応じて確保できている	99	18.0
余裕をもって確保できている	1	0.2
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく減った	18	3.3
多少減った	93	16.9
変わらない	384	69.7
多少増えた	56	10.2
大きく減った	0	0.0
合計	551	100.0

@2024(4)-1 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間 <現在の状況>

	n	%
非常に多い	24	4.4
多い	108	19.6
一般的である	279	50.6
少ない	95	17.2
非常に少ない(全くない)	45	8.2
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増えた	16	2.9
多少増えた	94	17.1
変わらない	384	69.7
多少減った	47	8.5
大きく減った	10	1.8
合計	551	100.0

@2024(5)-1 報告業務に要する時間 <現在の状況>

	n	%
非常に長時間を要している	9	1.6
長時間を要している	80	14.5
一般的な所要時間である	405	73.5
短時間で済んでいる	49	8.9
非常に短時間で済んでいる	8	1.5
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増えた	12	2.2
多少増えた	62	11.3
変わらない	435	78.9
多少減った	36	6.5
大きく減った	6	1.1
合計	551	100.0

@2024(6)-1 介護記録の作成時間 <現在の状況>

	n	%
非常に長時間を要している	11	2.0
長時間を要している	99	18.0
一般的な所要時間である	387	70.2
短時間で済んでいる	45	8.2
非常に短時間で済んでいる	9	1.6
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増えた	15	2.7
多少増えた	63	11.4
変わらない	396	71.9
多少減った	69	12.5
大きく減った	8	1.5
合計	551	100.0

@2024(7)-1 共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	4	0.7
低い	45	8.2
一般的である	455	82.6
高い	41	7.4
非常に高い	6	1.1
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	1	0.2
多少下がった	24	4.4
変わらない	477	86.6
多少上がった	48	8.7
大きく上がった	1	0.2
合計	551	100.0

@2024(8)-1 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ <現在の状況>

	n	%
非常に低い	2	0.4
低い	46	8.3
一般的である	458	83.1
高い	38	6.9
非常に高い	7	1.3
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	4	0.7
多少下がった	19	3.4
変わらない	469	85.1
多少上がった	57	10.3
大きく上がった	2	0.4
合計	551	100.0

@2024(9)-1 各職員が閲覧する書類の枚数 <現在の状況>

	n	%
非常に多い	22	4.0
多い	118	21.4
一般的である	371	67.3
少ない	39	7.1
非常に少ない	1	0.2
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増えた	12	2.2
多少増えた	77	14.0
変わらない	418	75.9
多少減った	43	7.8
大きく減った	1	0.2
合計	551	100.0

@2024(10)-1 (インカムや引継ぎ、記録による) 必要な情報の受け取り <現在の状況>

	n	%
非常に効率が悪い	8	1.5
効率が悪い	73	13.2
一般的である	422	76.6
効率が良い	45	8.2
非常に効率が良い	3	0.5
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく効率が下がった	4	0.7
多少効率が下がった	18	3.3
変わらない	476	86.4
多少効率が上がった	53	9.6
大きく上がった	0	0.0
合計	551	100.0

@2024(11)-1 主体性のある職員行動 <現在の状況>

	n	%
非常に主体性が低い	12	2.2
主体性が低い	125	22.7
一般的である	350	63.5
主体性が高い	58	10.5
非常に主体性が高い	6	1.1
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく主体性が下がった	7	1.3
多少主体性が下がった	36	6.5
変わらない	449	81.5
多少主体性が上がった	58	10.5
大きく主体性が上がった	1	0.2
合計	551	100.0

@2024(1)-1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応 <現在の状況>

	n	%
ほとんどできていない	3	0.5
十分にできていない	51	9.3
ある程度はできている	329	59.7
必要に応じてできている	161	29.2
余裕をもってできている	7	1.3
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	4	0.7
多少悪化した	19	3.4
変わらない	428	77.7
多少向上した	97	17.6
大きく向上した	3	0.5
合計	551	100.0

@2024(2)-1 職員同士の協力のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか） <現在の状況>

	n	%
非常に協力がにくい	5	0.9
協力がにくい	43	7.8
一般的である	313	56.8
協力がしやすい	160	29.0
非常に協力がしやすい	30	5.4
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	4	0.7
多少悪化した	28	5.1
変わらない	399	72.4
多少向上した	110	20.0
大きく向上した	10	1.8
合計	551	100.0

@2024(3)-1 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ） <現在の状況>

	n	%
非常に発言しにくい	5	0.9
発言しにくい	62	11.3
一般的である	323	58.6
発言しやすい	137	24.9
非常に発言しやすい	24	4.4
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	28	5.1
変わらない	435	78.9
多少向上した	80	14.5
大きく向上した	7	1.3
合計	551	100.0

@2024(4)-1 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	7	1.3
低い	76	13.8
一般的である	406	73.7
高い	57	10.3
非常に高い	5	0.9
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	30	5.4
変わらない	440	79.9
多少向上した	78	14.2
大きく向上した	2	0.4
合計	551	100.0

@2024(5)-1 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	6	1.1
低い	85	15.4
一般的である	390	70.8
高い	65	11.8
非常に高い	5	0.9
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	3	0.5
多少悪化した	27	4.9
変わらない	438	79.5
多少向上した	81	14.7
大きく向上した	2	0.4
合計	551	100.0

@2024(6)-1 管理職クラスの求められる業務に関する理解度 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	4	0.7
低い	67	12.2
一般的である	412	74.8
高い	61	11.1
非常に高い	7	1.3
合計	551	100.0

<1年前と比べて>

	n	%
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	21	3.8
変わらない	462	83.8
多少向上した	63	11.4
大きく向上した	4	0.7
合計	551	100.0

@2024(7)-1 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか） <現在の状況>

	n	%
非常に悪い	1	0.2
悪い	45	8.2
一般的である	385	69.9
良い	103	18.7
非常に良い	17	3.1
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく悪化した	1	0.2
多少悪化した	21	3.8
変わらない	446	80.9
多少向上した	78	14.2
大きく向上した	5	0.9
合計	551	100.0

@2024(8)-1 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など） <現在の状況>

	n	%
非常に低い	5	0.9
低い	59	10.7
一般的である	409	74.2
高い	74	13.4
非常に高い	4	0.7
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	1	0.2
多少下がった	25	4.5
変わらない	447	81.1
多少上がった	77	14.0
大きく上がった	1	0.2
合計	551	100.0

@2024(9)-1 各職員の利用者に対する観察力 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	3	0.5
低い	50	9.1
一般的である	374	67.9
高い	116	21.1
非常に高い	8	1.5
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	3	0.5
多少下がった	26	4.7
変わらない	417	75.7
多少上がった	102	18.5
大きく上がった	3	0.5
合計	551	100.0

@2024(10)-1 各職員のチーム意識の強さ <現在の状況>

	n	%
非常に低い	6	1.1
低い	72	13.1
一般的である	370	67.2
高い	89	16.2
非常に高い	14	2.5
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	2	0.4
多少下がった	36	6.5
変わらない	427	77.5
多少上がった	80	14.5
大きく上がった	6	1.1
合計	551	100.0

@2024(11)-1 職員と管理者のコミュニケーション時間 <現在の状況>

	n	%
非常に少ない	7	1.3
少ない	71	12.9
一般的である	388	70.4
多い	77	14.0
非常に多い	8	1.5
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく減少した	5	0.9
多少減少した	27	4.9
変わらない	451	81.9
多少増加した	63	11.4
大きく増加した	5	0.9
合計	551	100.0

@2024(12)-1 職員間の人間関係に関するストレス <現在の状況>

	n	%
非常に多い	15	2.7
多い	100	18.1
一般的である	368	66.8
少ない	58	10.5
非常に少ない	10	1.8
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく増加した	10	1.8
多少増加した	60	10.9
変わらない	426	77.3
多少減少した	49	8.9
大きく減少した	6	1.1
合計	551	100.0

@2024(13)-1 各職員の、この職場で働くことに対する意欲 <現在の状況>

	n	%
非常に低い	3	0.5
低い	53	9.6
一般的である	430	78.0
高い	61	11.1
非常に高い	4	0.7
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく下がった	4	0.7
多少下がった	32	5.8
変わらない	466	84.6
多少上がった	47	8.5
大きく上がった	2	0.4
合計	551	100.0

@2024(14)-1 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間） <現在の状況>

	n	%
非常に少ない	8	1.5
少ない	91	16.5
一般的である	393	71.3
多い	54	9.8
非常に多い	5	0.9
合計	551	100.0

<<1年前と比べて>>

	n	%
大きく減少した	2	0.4
多少減少した	40	7.3
変わらない	448	81.3
多少増加した	57	10.3
大きく増加した	1	0.2
合計	548	99.5
欠損値	3	0.5
合計	551	100.0

@2024サービス種別3区分 * @2024新規入職者数

	0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	50人以上	
居宅介護支援・介護予防支援	50	25	0	0	0	0	75
	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	114	210	7	2	1	0	334
	20.7%	38.1%	1.3%	0.4%	0.2%	0.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	24	103	12	1	1	1	142
	4.4%	18.7%	2.2%	0.2%	0.2%	0.2%	25.8%
	188	338	19	3	2	1	551
	34.1%	61.3%	3.4%	0.5%	0.4%	0.2%	100.0%

p<0.001
入所系が多い傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024離職者数

	0人	1-9人	10-19人	20-29人	50人以上	
居宅介護支援・介護予防支援	49	26	0	0	0	75
	8.9%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	113	219	2	0	0	334
	20.5%	39.7%	0.4%	0.0%	0.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	13	113	14	1	1	142
	2.4%	20.5%	2.5%	0.2%	0.2%	25.8%
	175	358	16	1	1	551
	31.8%	65.0%	2.9%	0.2%	0.2%	100.0%

p<0.001
入所系が多い傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024利用者数

	0人	1-9人	10-19人	20-29人	30-39人	40-49人	50人以上	
居宅介護支援・介護予防支援	1	1	1	8	12	3	49	75
	0.2%	0.2%	0.2%	1.5%	2.2%	0.5%	8.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	1	20	46	52	43	27	145	334
	0.2%	3.6%	8.3%	9.4%	7.8%	4.9%	26.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	1	17	40	16	9	12	47	142
	0.2%	3.1%	7.3%	2.9%	1.6%	2.2%	8.5%	25.8%
	3	38	87	76	64	42	241	551
	0.5%	6.9%	15.8%	13.8%	11.6%	7.6%	43.7%	100.0%

p<0.001
居宅系が多い傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024平均要介護度 (注3) 平均要介護度は、自立は0、要支援1・2は0.375として算出してください。

	0以上1未満	1以上2未満	2以上3未満	3以上4未満	4以上	
居宅介護支援・介護予防支援	5	13	46	7	4	75
	0.9%	2.4%	8.3%	1.3%	0.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	6	82	143	89	14	334
	1.1%	14.9%	26.0%	16.2%	2.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	0	3	50	48	41	142
	0.0%	0.5%	9.1%	8.7%	7.4%	25.8%
	11	98	239	144	59	551
	2.0%	17.8%	43.4%	26.1%	10.7%	100.0%

p<0.001
施設系が重度傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024求人発出件数 (ハローワーク、人材派遣業者等合わせて)

	0件	1-9件	10-19件	20-29件	30-39件	50件以上	合計	p<0.001
居宅介護支援・介護予防支援	46	28	1	0	0	0	75	居宅支援で若干少ない
	8.3%	5.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	93	231	6	1	1	2	334	
	16.9%	41.9%	1.1%	0.2%	0.2%	0.4%	60.6%	
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	21	98	15	6	1	1	142	
	3.8%	17.8%	2.7%	1.1%	0.2%	0.2%	25.8%	
	160	357	22	7	2	3	551	
	29.0%	64.8%	4.0%	1.3%	0.4%	0.5%	100.0%	

@2024サービス種別3区分 * @2024平均有休取得日数 (1人あたり年平均)

	0日	0日から10日未満	10日以上20日未満	20日以上30日未満	30日以上	合計	p<0.01
居宅介護支援・介護予防支援	6	40	23	5	1	75	居策サービスが取得しやすい傾向
	1.1%	7.3%	4.2%	0.9%	0.2%	13.6%	
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	6	203	115	8	2	334	
	1.1%	36.8%	20.9%	1.5%	0.4%	60.6%	
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	0	85	53	4	0	142	
	0.0%	15.4%	9.6%	0.7%	0.0%	25.8%	
	12	328	191	17	3	551	
	2.2%	59.5%	34.7%	3.1%	0.5%	100.0%	

@2024サービス種別3区分 * @2024平均時間外労働時間数 (1人あたり年平均)

	0時間	0時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間以上80時間未満	80時間以上100時間未満	100時間以上	合計	p<0.001
居宅介護支援・介護予防支援	23	40	6	5	0	0	1	75	施設系が少ない傾向
	4.2%	7.3%	1.1%	0.9%	0.0%	0.0%	0.2%	13.6%	
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	37	225	42	14	5	7	4	334	
	6.7%	40.8%	7.6%	2.5%	0.9%	1.3%	0.7%	60.6%	
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	6	112	16	3	3	1	1	142	
	1.1%	20.3%	2.9%	0.5%	0.5%	0.2%	0.2%	25.8%	
	66	377	64	22	8	8	6	551	
	12.0%	68.4%	11.6%	4.0%	1.5%	1.5%	1.1%	100.0%	

@2024サービス種別3区分 * @2024良質な人材の確保が難しい

	いいえ	はい	合計	p<0.001
居宅介護支援・介護予防支援	18	57	75	施設と居宅系が困難な傾向
	3.3%	10.3%	13.6%	
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	35	299	334	
	6.4%	54.3%	60.6%	
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	11	131	142	
	2.0%	23.8%	25.8%	
	64	487	551	
	11.6%	88.4%	100.0%	

@2024サービス種別3区分 * @2024今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	23	52	75
	4.2%	9.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	67	267	334
	12.2%	48.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	34	108	142
	6.2%	19.6%	25.8%
	124	427	551
	22.5%	77.5%	100.0%

n.s.

全て「はい」の傾向で違いは認められない

@2024サービス種別3区分 * @2024指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	11	64	75
	2.0%	11.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	55	279	334
	10.0%	50.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	27	115	142
	4.9%	20.9%	25.8%
	93	458	551
	16.9%	83.1%	100.0%

n.s.

全て「はい」の傾向で違いは認められない

@2024サービス種別3区分 * @2024教育・研修の時間が十分に取れない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	22	53	75
	4.0%	9.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	72	262	334
	13.1%	47.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	27	115	142
	4.9%	20.9%	25.8%
	121	430	551
	22.0%	78.0%	100.0%

n.s.

全て「はい」の傾向で違いが認められない

@2024サービス種別3区分 * @2024経営(収支)が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	31	44	75
	5.6%	8.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	106	228	334
	19.2%	41.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	47	95	142
	8.5%	17.2%	25.8%
	184	367	551
	33.4%	66.6%	100.0%

n.s.

全て「はい」の傾向で違いが認められない

@2024サービス種別3区分 * @2024新規利用者の確保が難しい

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	35	40	75
	6.4%	7.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	133	201	334
	24.1%	36.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	61	81	142
	11.1%	14.7%	25.8%
	229	322	551
	41.6%	58.4%	100.0%

n.s.

全て「はい」の傾向で違いが認められない

@2024サービス種別3区分 * @2024介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	54	21	75
	9.8%	3.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	163	171	334
	29.6%	31.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	53	89	142
	9.6%	16.2%	25.8%
	270	281	551
	49.0%	51.0%	100.0%

p<0.001

居宅・予防支援で「いいえ」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	57	18	75
	10.3%	3.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	215	119	334
	39.0%	21.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	73	69	142
	13.2%	12.5%	25.8%
	345	206	551
	62.6%	37.4%	100.0%

p<0.001

施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024管理者の指導・管理能力が不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	42	33	75
	7.6%	6.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	165	169	334
	29.9%	30.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	62	80	142
	11.3%	14.5%	25.8%
	269	282	551
	48.8%	51.2%	100.0%

n.s.

全般的に同傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護従事者間のコミュニケーションが不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	59	16	75
	10.7%	2.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	234	100	334
	42.5%	18.1%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	81	61	142
	14.7%	11.1%	25.8%
	374	177	551
	67.9%	32.1%	100.0%

p<0.01
施設系で若干割合が高い

@2024サービス種別3区分 * @2024経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	55	20	75
	10.0%	3.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	225	109	334
	40.8%	19.8%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	77	65	142
	14.0%	11.8%	25.8%
	357	194	551
	64.8%	35.2%	100.0%

p<0.01
施設系で若干割合が高い

@2024サービス種別3区分 * @2024利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	47	28	75
	8.5%	5.1%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	202	132	334
	36.7%	24.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	98	44	142
	17.8%	8.0%	25.8%
	347	204	551
	63.0%	37.0%	100.0%

n.s.
全般的に同傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	63	12	75
	11.4%	2.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	210	124	334
	38.1%	22.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	98	44	142
	17.8%	8.0%	25.8%
	371	180	551
	67.3%	32.7%	100.0%

p<0.01
居宅サービスで若干傾向あり

@2024サービス種別3区分 * @2024雇用管理等についての情報や指導が不足している

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	56	19	75
	10.2%	3.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	193	141	334
	35.0%	25.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	87	55	142
	15.8%	10.0%	25.8%
	336	215	551
	61.0%	39.0%	100.0%

p<0.05
サービス系で「はい」の傾向あり

@2024サービス種別3区分 * @2024その他

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	72	3	75
	13.1%	0.5%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	323	11	334
	58.6%	2.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	137	5	142
	24.9%	0.9%	25.8%
	532	19	551
	96.6%	3.4%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024特に問題はない

	いいえ	
居宅介護支援・介護予防支援	75	75
	13.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	334	334
	60.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	142	142
	25.8%	25.8%
	551	551
	100.0%	100.0%

100%の回答者で問題を抱えている

導入済み機器

@2024サービス種別3区分 * @2024移乗介助(介助者のパワーアシストを行う機器)

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	73	2	75
	13.2%	0.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	324	10	334
	58.8%	1.8%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	126	16	142
	22.9%	2.9%	25.8%
	523	28	551
	94.9%	5.1%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	72	3	75
	13.1%	0.5%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	321	13	334
	58.3%	2.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	128	14	142
	23.2%	2.5%	25.8%
	521	30	551
	94.6%	5.4%	100.0%

p<0.05
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	329	5	334
	59.7%	0.9%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	137	5	142
	24.9%	0.9%	25.8%
	540	11	551
	98.0%	2.0%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	63	12	75
	11.4%	2.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	242	92	334
	43.9%	16.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	45	97	142
	8.2%	17.6%	25.8%
	350	201	551
	63.5%	36.5%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	332	2	334
	60.3%	0.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	139	3	142
	25.2%	0.5%	25.8%
	545	6	551
	98.9%	1.1%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	71	4	75
	12.9%	0.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	273	61	334
	49.5%	11.1%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	103	39	142
	18.7%	7.1%	25.8%
	447	104	551
	81.1%	18.9%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	320	14	334
	58.1%	2.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	133	9	142
	24.1%	1.6%	25.8%
	527	24	551
	95.6%	4.4%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	73	2	75
	13.2%	0.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	305	29	334
	55.4%	5.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	122	20	142
	22.1%	3.6%	25.8%
	500	51	551
	90.7%	9.3%	100.0%

p<0.05
施設系で若干「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	73	2	75
	13.2%	0.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	314	20	334
	57.0%	3.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	108	34	142
	19.6%	6.2%	25.8%
	495	56	551
	89.8%	10.2%	100.0%

p<0.001
施設系で若干「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）

	いいえ	はい	
@2024サービス種別3区分			p<0.05
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	329	5	334
	59.7%	0.9%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	134	8	142
	24.3%	1.5%	25.8%
合計	537	14	551
	97.5%	2.5%	100.0%

施設系で若干「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	34	41	75
	6.2%	7.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	113	221	334
	20.5%	40.1%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	43	99	142
	7.8%	18.0%	25.8%
合計	190	361	551
	34.5%	65.5%	100.0%

n.s. 全体的に導入傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	46	29	75
	8.3%	5.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	160	174	334
	29.0%	31.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	62	80	142
	11.3%	14.5%	25.8%
合計	268	283	551
	48.6%	51.4%	100.0%

p<0.05 居宅・予防系で「いいえ」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024通信環境機器（Wi-Fiルーター等）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	18	57	75
	3.3%	10.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	75	259	334
	13.6%	47.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	13	129	142
	2.4%	23.4%	25.8%
合計	106	445	551
	19.2%	80.8%	100.0%

p<0.01 特に施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	59	16	75
	10.7%	2.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	238	96	334
	43.2%	17.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	88	54	142
	16.0%	9.8%	25.8%
	385	166	551
	69.9%	30.1%	100.0%

p<0.05
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024その他2

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	333	1	334
	60.4%	0.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	142	0	142
	25.8%	0.0%	25.8%
	549	2	551
	99.6%	0.4%	100.0%

n.s.

導入希望

@2024サービス種別3区分 * @2024移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）3

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	66	9	75
	12.0%	1.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	199	135	334
	36.1%	24.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	55	87	142
	10.0%	15.8%	25.8%
	320	231	551
	58.1%	41.9%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）4

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	66	9	75
	12.0%	1.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	226	108	334
	41.0%	19.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	71	71	142
	12.9%	12.9%	25.8%
	363	188	551
	65.9%	34.1%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）5

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	67	8	75
	12.2%	1.5%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	222	112	334
	40.3%	20.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	61	81	142
	11.1%	14.7%	25.8%
	350	201	551
	63.5%	36.5%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）6

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	59	16	75
	10.7%	2.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	193	141	334
	35.0%	25.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	37	105	142
	6.7%	19.1%	25.8%
	289	262	551
	52.5%	47.5%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向。

@2024サービス種別3区分 * @2024コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）7

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	60	15	75
	10.9%	2.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	209	125	334
	37.9%	22.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	66	76	142
	12.0%	13.8%	25.8%
	335	216	551
	60.8%	39.2%	100.0%

p<0.001
居宅、在宅サービス系で「いいえ」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）8

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	67	8	75
	12.2%	1.5%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	198	136	334
	35.9%	24.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	55	87	142
	10.0%	15.8%	25.8%
	320	231	551
	58.1%	41.9%	100.0%

p<0.001
居宅、サービスサービス系で「いいえ」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）9

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	63	12	75
	11.4%	2.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	199	135	334
	36.1%	24.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	56	86	142
	10.2%	15.6%	25.8%
	318	233	551
	57.7%	42.3%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）10

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	65	10	75
	11.8%	1.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	207	127	334
	37.6%	23.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	70	72	142
	12.7%	13.1%	25.8%
	342	209	551
	62.1%	37.9%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）11

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	68	7	75
	12.3%	1.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	245	89	334
	44.5%	16.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	78	64	142
	14.2%	11.6%	25.8%
	391	160	551
	71.0%	29.0%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）12

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	59	16	75
	10.7%	2.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	207	127	334
	37.6%	23.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	55	87	142
	10.0%	15.8%	25.8%
	321	230	551
	58.3%	41.7%	100.0%

p<0.001
施設系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）13

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	32	43	75
	5.8%	7.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	143	191	334
	26.0%	34.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	58	84	142
	10.5%	15.2%	25.8%
	233	318	551
	42.3%	57.7%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）14

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	31	44	75
	5.6%	8.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	127	207	334
	23.0%	37.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	50	92	142
	9.1%	16.7%	25.8%
	208	343	551
	37.7%	62.3%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024通信環境機器（Wi-Fiルーター等）15

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	36	39	75
	6.5%	7.1%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	148	186	334
	26.9%	33.8%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	70	72	142
	12.7%	13.1%	25.8%
	254	297	551
	46.1%	53.9%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成のためのソフトで転記が不要であるもの）

	いいえ	はい	p<0.05
居宅介護支援・介護予防支援	45	30	75
	8.2%	5.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	147	187	334
	26.7%	33.9%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	66	76	142
	12.0%	13.8%	25.8%
	258	293	551
	46.8%	53.2%	100.0%

サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024その他16

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	75	0	75
	13.6%	0.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	332	2	334
	60.3%	0.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	141	1	142
	25.6%	0.2%	25.8%
	548	3	551
	99.5%	0.5%	100.0%

導入課題

@2024サービス種別3区分 * @2024導入コストが高い

	いいえ	はい	p<0.05
居宅介護支援・介護予防支援	9	66	75
	1.6%	12.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	18	316	334
	3.3%	57.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	5	137	142
	0.9%	24.9%	25.8%
	32	519	551
	5.8%	94.2%	100.0%

全て「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない

	いいえ	はい	p<0.001
居宅介護支援・介護予防支援	21	54	75
	3.8%	9.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	116	218	334
	21.1%	39.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	81	61	142
	14.7%	11.1%	25.8%
	218	333	551
	39.6%	60.4%	100.0%

居宅・居宅サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える。

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	54	21	75
	9.8%	3.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	206	128	334
	37.4%	23.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	111	31	142
	20.1%	5.6%	25.8%
	371	180	551
	67.3%	32.7%	100.0%

p<0.001
居宅「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024技術的に使いこなせるか心配である

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	26	49	75
	4.7%	8.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	94	240	334
	17.1%	43.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	43	99	142
	7.8%	18.0%	25.8%
	163	388	551
	29.6%	70.4%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024誤作動の不安がある

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	27	48	75
	4.9%	8.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	99	235	334
	18.0%	42.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	49	93	142
	8.9%	16.9%	25.8%
	175	376	551
	31.8%	68.2%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024設置や保管等に場所をとられてしまう

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	37	38	75
	6.7%	6.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	87	247	334
	15.8%	44.8%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	48	94	142
	8.7%	17.1%	25.8%
	172	379	551
	31.2%	68.8%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	32	43	75
	5.8%	7.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	73	261	334
	13.2%	47.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	30	112	142
	5.4%	20.3%	25.8%
	135	416	551
	24.5%	75.5%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024投資に見合うだけの効果がない(事業規模から考えて必要ない)

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	29	46	75
	5.3%	8.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	114	220	334
	20.7%	39.9%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	78	64	142
	14.2%	11.6%	25.8%
	221	330	551
	40.1%	59.9%	100.0%

p<0.001
居宅サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	50	25	75
	9.1%	4.5%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	193	141	334
	35.0%	25.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	110	32	142
	20.0%	5.8%	25.8%
	353	198	551
	64.1%	35.9%	100.0%

p<0.001
居宅サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024職員への周知(使用方法等)

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	29	46	75
	5.3%	8.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	129	205	334
	23.4%	37.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	53	89	142
	9.6%	16.2%	25.8%
	211	340	551
	38.3%	61.7%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024その他17

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	73	2	75
	13.2%	0.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	330	4	334
	59.9%	0.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	133	9	142
	24.1%	1.6%	25.8%
	536	15	551
	97.3%	2.7%	100.0%

p<0.01

@2024サービス種別3区分 * @2024導入する必要のある課題や必要性を感じていない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	47	28	75
	8.5%	5.1%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	207	127	334
	37.6%	23.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	123	19	142
	22.3%	3.4%	25.8%
	377	174	551
	68.4%	31.6%	100.0%

p<0.001

居宅サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024(1)「あおもり介護生産性向上相談センター」について知っていますか。

	知らない	知っているが、活用したことはない	知っており、活用したことがある	
居宅介護支援・介護予防支援	34	40	1	75
	6.2%	7.3%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	136	180	18	334
	24.7%	32.7%	3.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	39	77	26	142
	7.1%	14.0%	4.7%	25.8%
	209	297	45	551
	37.9%	53.9%	8.2%	100.0%

p<0.001

居宅で「知らない」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024(2)厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

	知らない	知っているが、読んだことはない	(一部でも)活用し、取り組んでいる	知っており、読んだことがある	
居宅介護支援・介護予防支援	21	38	1	15	75
	3.8%	6.9%	0.2%	2.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	82	146	9	97	334
	14.9%	26.5%	1.6%	17.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	22	36	8	76	142
	4.0%	6.5%	1.5%	13.8%	25.8%
	125	220	18	188	551
	22.7%	39.9%	3.3%	34.1%	100.0%

p<0.001

施設サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	30	45	75
	5.4%	8.2%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	108	226	334
	19.6%	41.0%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	48	94	142
	8.7%	17.1%	25.8%
	186	365	551
	33.8%	66.2%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	19	56	75
	3.4%	10.2%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	107	227	334
	19.4%	41.2%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	42	100	142
	7.6%	18.1%	25.8%
	168	383	551
	30.5%	69.5%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	43	32	75
	7.8%	5.8%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	166	168	334
	30.1%	30.5%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	58	84	142
	10.5%	15.2%	25.8%
	267	284	551
	48.5%	51.5%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	44	31	75
	8.0%	5.6%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	166	168	334
	30.1%	30.5%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	83	59	142
	15.1%	10.7%	25.8%
	293	258	551
	53.2%	46.8%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	32	43	75
	5.8%	7.8%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	116	218	334
	21.1%	39.6%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	53	89	142
	9.6%	16.2%	25.8%
	201	350	551
	36.5%	63.5%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	45	30	75
	8.2%	5.4%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	185	149	334
	33.6%	27.0%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	77	65	142
	14.0%	11.8%	25.8%
	307	244	551
	55.7%	44.3%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @20240JTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）

	いいえ	はい	p<0.05
居宅介護支援・介護予防支援	45	30	75
	8.2%	5.4%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	209	125	334
	37.9%	22.7%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	69	73	142
	12.5%	13.2%	25.8%
	323	228	551
	58.6%	41.4%	100.0%

サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	26	49	75
	4.7%	8.9%	13.6%
居宅系サービス（入所系以外、予防、密着、用具・住改含む）	124	210	334
	22.5%	38.1%	60.6%
施設系サービス（介護保険施設、特定、GH含む）	52	90	142
	9.4%	16.3%	25.8%
	202	349	551
	36.7%	63.3%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024実施済の項目はない

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	58	17	75
	10.5%	3.1%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	293	41	334
	53.2%	7.4%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	127	15	142
	23.0%	2.7%	25.8%
	478	73	551
	86.8%	13.2%	100.0%

p<0.05
居宅系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024職場環境の整備(3M(ムリ・ムダ・ムラ)をなくすための5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ))18

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	19	56	75
	3.4%	10.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	74	260	334
	13.4%	47.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	33	109	142
	6.0%	19.8%	25.8%
	126	425	551
	22.9%	77.1%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024業務の明確化と役割分担(人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築)19

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	23	52	75
	4.2%	9.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	80	254	334
	14.5%	46.1%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	42	100	142
	7.6%	18.1%	25.8%
	145	406	551
	26.3%	73.7%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024介護ロボットやICT機器(PC、タブレット等)の導入20

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	30	45	75
	5.4%	8.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	131	203	334
	23.8%	36.8%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	40	102	142
	7.3%	18.5%	25.8%
	201	350	551
	36.5%	63.5%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）21

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	32	43	75
	5.8%	7.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	83	251	334
	15.1%	45.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	43	99	142
	7.8%	18.0%	25.8%
	158	393	551
	28.7%	71.3%	100.0%

p<0.01
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）22

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	21	54	75
	3.8%	9.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	71	263	334
	12.9%	47.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	39	103	142
	7.1%	18.7%	25.8%
	131	420	551
	23.8%	76.2%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）23

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	24	51	75
	4.4%	9.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	86	248	334
	15.6%	45.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	37	105	142
	6.7%	19.1%	25.8%
	147	404	551
	26.7%	73.3%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @20240JTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）24

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	24	51	75
	4.4%	9.3%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	88	246	334
	16.0%	44.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	41	101	142
	7.4%	18.3%	25.8%
	153	398	551
	27.8%	72.2%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自発的な行動がとれる職員の育成）25

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	22	53	75
	4.0%	9.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	93	241	334
	16.9%	43.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	48	94	142
	8.7%	17.1%	25.8%
	163	388	551
	29.6%	70.4%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024実施予定の項目はない

	いいえ	はい	p<0.01 居宅で「はい」の傾向
居宅介護支援・介護予防支援	49	26	75
	8.9%	4.7%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	268	66	334
	48.6%	12.0%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	119	23	142
	21.6%	4.2%	25.8%
	436	115	551
	79.1%	20.9%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024時間の確保

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	10	65	75
	1.8%	11.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	39	295	334
	7.1%	53.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	17	125	142
	3.1%	22.7%	25.8%
	66	485	551
	12.0%	88.0%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024実施体制の不備

	いいえ	はい	n.s.
居宅介護支援・介護予防支援	21	54	75
	3.8%	9.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	77	257	334
	14.0%	46.6%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	40	102	142
	7.3%	18.5%	25.8%
	138	413	551
	25.0%	75.0%	100.0%

@2024サービス種別3区分 * @2024職場内での反発

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	54	21	75
	9.8%	3.8%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	195	139	334
	35.4%	25.2%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	77	65	142
	14.0%	11.8%	25.8%
	326	225	551
	59.2%	40.8%	100.0%

p<0.05
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024取組に対する理解不足

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	33	42	75
	6.0%	7.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	100	234	334
	18.1%	42.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	28	114	142
	5.1%	20.7%	25.8%
	161	390	551
	29.2%	70.8%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024ルール化の問題

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	31	44	75
	5.6%	8.0%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	89	245	334
	16.2%	44.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	35	107	142
	6.4%	19.4%	25.8%
	155	396	551
	28.1%	71.9%	100.0%

p<0.05
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024経済的な問題

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	15	60	75
	2.7%	10.9%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	68	266	334
	12.3%	48.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	31	111	142
	5.6%	20.1%	25.8%
	114	437	551
	20.7%	79.3%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024職員間の認識のばらつき

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	33	42	75
	6.0%	7.6%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	71	263	334
	12.9%	47.7%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	16	126	142
	2.9%	22.9%	25.8%
	120	431	551
	21.8%	78.2%	100.0%

p<0.001
サービス系で「はい」の傾向

@2024サービス種別3区分 * @2024その他26

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	74	1	75
	13.4%	0.2%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	331	3	334
	60.1%	0.5%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	141	1	142
	25.6%	0.2%	25.8%
	546	5	551
	99.1%	0.9%	100.0%

n.s.

@2024サービス種別3区分 * @2024困難は生じなかった

	いいえ	はい	
居宅介護支援・介護予防支援	56	19	75
	10.2%	3.4%	13.6%
居宅系サービス(入所系以外、予防、密着、用具・住改含む)	283	51	334
	51.4%	9.3%	60.6%
施設系サービス(介護保険施設、特定、GH含む)	128	14	142
	23.2%	2.5%	25.8%
	467	84	551
	84.8%	15.2%	100.0%

p<0.05
サービス系で「はい」の傾向

令和6年度 介護生産性向上に関する事業所調査

I. 事業所情報

事業所名	
事業者番号	
サービス種別	
記入者役職※可能な限り、管理者・サ責又は経営者が記入してください。	
記入者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

II. 運営上の課題

■ 2024年10月1日時点の職員数（延べ）（注1）

訪問介護員	人
サービス提供責任者	人
介護職員（注2）	人
介護職員のうち、外国人介護職員数	人
看護職員	人
生活相談員	人
機能訓練指導員（PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等）	人
介護支援専門員	人
上記以外の職員	人

(注1) 資格ではなく、従事している仕事(職種)に着目して記入してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事(職種)にのみ記入してください。

※サービス提供責任者（指定訪問介護サービスのみ該当）と訪問介護員を兼務している場合は、サービス提供責任者の欄に記入し、訪問介護員の欄には記入しないでください。

(注2) 介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

■ 2024年10月1日時点の利用者数（延べ）

利用者数	人
平均要介護度（注3）	

(注3) 平均要介護度は、自立はゼロ、要支援1・2は0.375として算出してください。

■ 昨年度（2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日））の雇用管理の状況

新規入職者数	人
離職者数	人
求人発出件数（ハローワーク、人材派遣業者等合わせて）	回
平均有休取得日数（1人あたり年平均）	日
平均時間外労働時間数（1人あたり年平均）	時間

■ 運営上の課題（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 良質な人材の確保が難しい <input type="checkbox"/> 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない <input type="checkbox"/> 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
--

- 教育・研修の時間が十分に取れない
- 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない
- 新規利用者の確保が難しい
- 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
- 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
- 管理者の指導・管理能力が不足している
- 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
- 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
- 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
- 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
- 雇用管理等についての情報や指導が不足している
- その他（内容： _____）
- 特に問題はない

Ⅲ. 生産性向上（業務改善）の取組

■介護ロボット・ICT導入について

（1）導入済の機器（複数選択可）

- 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
- 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
- 排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
- 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
- コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
- 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
- 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
- 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
- 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
- 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
- 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
- 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
- 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
- バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）
- その他（内容： _____）

（2）導入してみたい機器（複数選択可）

- 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
- 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
- 排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
- 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
- コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
- 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
- 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
- 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
- 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
- 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
- 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
- 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
- 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
- バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）
- その他（内容： _____）

(3) 介護ロボット・ICT導入の課題（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 導入コストが高い
<input type="checkbox"/> どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない
<input type="checkbox"/> ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える
<input type="checkbox"/> 技術的に使いこなせるか心配である
<input type="checkbox"/> 誤作動の不安がある
<input type="checkbox"/> 設置や保管等に場所をとられてしまう
<input type="checkbox"/> 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
<input type="checkbox"/> 投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）
<input type="checkbox"/> 介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない
<input type="checkbox"/> 職員への周知（使用方法等）
<input type="checkbox"/> その他（内容： _____)
<input type="checkbox"/> 導入する必要のある課題や必要性を感じていない

■生産性向上（業務改善）の取組について

(1) 「あおもり介護生産性向上相談センター」について知っていますか。

<https://aosyakyu.jp/>

<input type="checkbox"/> 知っており、活用したことがある。
<input type="checkbox"/> 知っているが、活用したことはない
<input type="checkbox"/> 知らない

(2) 厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei.html>

<input type="checkbox"/> 知っており、読んだことがある
<input type="checkbox"/> 知っているが、読んだことはない
<input type="checkbox"/> （一部でも）活用し、取り組んでいる
<input type="checkbox"/> 知らない

(3) 介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組のうち、実施済の項目（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））
<input type="checkbox"/> 業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）
<input type="checkbox"/> 介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入
<input type="checkbox"/> 手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）
<input type="checkbox"/> 記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）
<input type="checkbox"/> 情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）
<input type="checkbox"/> OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）
<input type="checkbox"/> 理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）
<input type="checkbox"/> 実施済の項目はない

(4) 「介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組」うち、実施予定又は実施してみたい項目（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 職場環境の整備（3M（ムリ・ムダ・ムラ）をなくすための5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ））
<input type="checkbox"/> 業務の明確化と役割分担（人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築）
<input type="checkbox"/> 介護ロボットやICT機器（PC、タブレット等）の導入
<input type="checkbox"/> 手順書の作成（理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化）
<input type="checkbox"/> 記録・報告様式の工夫（項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする）
<input type="checkbox"/> 情報共有の工夫（ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消）

- OJTの仕組みづくり（日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化）
- 理念・行動指針の徹底（組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成）
- 実施予定の項目はない

(5) 取組にあたっての（予想される）課題（複数選択可）

- 時間の確保
- 実施体制の不備
- 職場内での反発
- 取組に対する理解不足
- ルール化の問題
- 経済的な問題
- 職員間の認識のばらつき
- その他（内容： _____)
- 困難は生じなかった

IV. 取組成果（※全体的に、⑤が良い方向、①が悪い方向です。）

■業務の効率化について

項目	現在の状況	1年前と比べて
1 利用者・家族とのコミュニケーション時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた
2 時間に追われる焦り感（心理的な負担）	① 非常に強い ② 強い ③ 一般的である ④ 弱い ⑤ 非常に弱い（全くない）	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
3 質の維持向上（OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討）に活用可能な時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた
4 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない（全くない）	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った

5 報告業務に要する時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
6 介護記録の作成時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
7 共有情報（ケア記録やケアマネへの提供情報など）の質	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
8 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
9 各職員が閲覧する書類の枚数	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
10（インカムや引継ぎ・記録による）必要な情報の受け取り	① 非常に効率が悪い ② 効率が悪い ③ 一般的である ④ 効率が良い ⑤ 非常に効率が良い	① 大きく効率が下がった ② 多少効率が下がった ③ 変わらない ④ 多少効率が上がった ⑤ 大きく効率が上がった
11 主体性のある職員行動	① 非常に主体性が低い ② 主体性が低い ③ 一般的である ④ 主体性が高い ⑤ 非常に主体性が高い	① 大きく主体性が下がった ② 多少主体性が下がった ③ 変わらない ④ 多少主体性が上がった ⑤ 大きく主体性が上がった

■介護サービスの質の向上について

項目	現在の状況	1年前と比べて
1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応	① ほとんどできていない ② 十分にできていない ③ ある程度はできている ④ 必要に応じてできている ⑤ 余裕をもってできている	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
2 職員同士の協同のしやすさ（助けを求めたり、情報共有したりしやすいか）	① 非常に協同しにくい ② 協同しにくい ③ 一般的である ④ 協同しやすい ⑤ 非常に協同しやすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
3 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況（風通しのよさ）	① 非常に発言しにくい ② 発言しにくい ③ 一般的である ④ 発言しやすい ⑤ 非常に発言しやすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
4 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
5 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
6 管理職クラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
7 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）	① 非常に悪い ② 悪い ③ 一般的である ④ 良い ⑤ 非常に良い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した

8 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
9 各職員の利用者に対する観察力	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
10 各職員のチーム意識の強さ	① 非常に弱い ② 弱い ③ 一般的である ④ 強い ⑤ 非常に強い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
11 職員と管理者のコミュニケーション時間	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した
12 職員間の人間関係に関するストレス	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増加した ② 多少増加した ③ 変わらない ④ 多少減少した ⑤ 大きく減少した
13 各職員の、この職場で働くことに対する意欲	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
14 各職員が自主的に利用者 と向き合う時間（サービス後・サービス間の コミュニケーション時間）	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した

V. 自由記載欄

(経済的コスト削減への取組状況や課題)

--

(時間的コスト削減への取組や課題)

--

(人材育成や定着に向けた取組や課題)

--

(行政や関係団体に求める取組や支援)

--